



## 2019年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、事業の中核をなす研究助成事業について、現行9の研究助成プログラムを継続し、ライフサイエンス研究助成について継続助成を新たに開始した。

また、奨学助成事業では、2012年度創設の医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で34名となった。さらに、若手医師でかつ博士号保持者を対象とした海外研究留学助成を新たに開始し、選考された10名が海外に出立した。

### 1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

(1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件 計3億円を贈呈した。

(2) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件1,000万円29件 計2億9,000万円を贈呈した。

(3) ライフサイエンス研究助成は、生命科学分野（医学・歯学・薬学を除く）の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1件200万円42件 計8,400万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2017年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円4件 計1,200万円を贈呈した。

(4) 医学系研究助成は、医学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円240件 計4億8,000万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）65件、精神・神経・脳領域49件、感染領域23件、基礎71件、臨床32件]

継続助成は、本研究助成の2016年度および2017年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円30件 計9,000万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）6件、精神・神経・脳領域6件、感染領域4件、基礎9件、臨床5件]

(5) 薬学系研究助成は、薬学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野

の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円40件計8,000万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2016年度および2017年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円5件計1,500万円を贈呈した。

- (6) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究（学内または複数機関の融合研究）に対して、1件4,980万円～5,000万円13件計6億4,980万円を贈呈した。

- (7) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1件200万円34件計6,800万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2016年度および2017年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1件500万円10件計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2016年度および2017年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1件1,000万円5件計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2016年度および2017年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行ったが、採択なしであった。

- (8) 中学校・高等学校理科教育振興助成は、国内の中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1件30万円69件計2,070万円を贈呈した。（中学校21件、高等学校48件）

- (9) 杏雨書屋研究助成は、杏雨書屋所蔵資料に関わる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件40万円～95万円8件計500万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は21億9,450万円（対前年度実績比5,875万円減）となった。

## 2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

- (1) 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、7指定国より48名、その他の国より11名、計59名の留学者が来日し、留学助成金として総額1億1,160万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2020年3月末までに留学助成した外国人留学研究者の総数は45カ国から1,734名となった。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2020年3月31日現在〉

国 別	2019年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	6	1		7	6名承認
タ イ	8	7			7	8名承認、1名次年度繰越
フィリピン	8	9			9	9名承認
韓 国	5	3			3	4名承認、1名次年度繰越
中 国	10	7			7	10名承認、3名次年度繰越
インドネシア	8	9			9	9名承認
ベトナム	6	3	3		6	3名承認
7カ国 小計	51	44	4	0	48	
上記7カ国以外	10	11			11	12名承認、1名次年度繰越
総 計	61	55	4	0	59	

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定7大学（東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、東北大学、九州大学）の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者（各大学2名、計14名）に対し、奨学金（年間360万円、最大4年間）の支給を行う事業を実施した。

2016年度から2018年度の奨学助成者36名および復学した2013年度生1名と合わせて計51名に、総額1億8,360万円を奨学助成したが、2018年度の1名が12月で退学したため、90万円返金された。また、2017年度助成者で継続奨学助成の推薦を受けた者（13名）の中から、審査の上、研究優秀者に対して1件50万円2件 計100万円を追加奨学助成した。従って、医学部博士課程の奨学金総額は、1億8,370万円となった。

なお、2019年5月24日（金）に第8回医学部博士課程奨学助成認定式を実施した。

(3) 海外研究留学者に対する助成（海外研究留学助成）

本年度より若手医師でかつ博士号保持者を対象とした海外研究留学助成を新たに開始した。2019年度研究留学者として選考された10名が各々海外に出立し、総額5,000万円を助成した。

また、2020年度の海外研究留学者について募集を行い、選考された10名の候補者について理事長が最終決定し、2020年2月25日（火）に2020年度海外研究留学助成認定式を実施した。

3. 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された15名の候補者について、9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2019年11月12日（火）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および副賞（1件2,000万円）をそれぞれ贈呈した。

影山 龍一郎 博士

受賞時職名：京都大学 教授

研究題目：神経幹細胞の制御機構の解明と制御技術の開発

岩井 一宏 博士

受賞時職名：京都大学 教授

研究題目：直鎖状ユビキチン鎖の発見とその病態生理学研究

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は第10回 武田科学振興財団 薬科学シンポジウム The 10th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences を開催した。

テーマ：“Mental Illness: Human Biology and Preclinical Modeling for Translation”

「精神疾患：生物学から創薬へ」

組織委員長：成宮 周 先生（京都大学 教授）

組織委員：神庭 重信 先生（九州大学 教授）

澤 明 先生（ジョンズ・ホプキンス大学 教授）

古屋敷 智之 先生（神戸大学 教授）

講演：23名（国内8名、国外15名）

ポスター発表（66件）

会期：2020年1月24日（金）～25日（土）

場所：武田薬品研修所（大阪府吹田市）

参加者：325名

シンポジウムポスター褒賞金は、ポスター発表者を対象に、組織委員を中心として構成する選考委員会で決定し、1件50万円5件計250万円を贈呈した。（褒賞）

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書等発刊）

2019年5月、杏雨書屋機関誌「杏雨」22号および増刊号2019を発刊した。

また、2019年10月に「杏雨書屋蔵 積砂版大蔵経目録 第七冊」を300部、2020年3月に「杏雨書屋蔵 積砂版大蔵経目録 第八冊」を300部発刊した。

6. 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書等公開）

(1) 保管・整理

写真撮影68,939枚、複写製本921冊、補修1,504冊を行った。

(2) 公開

閲覧者は157名（閲覧図書948部、4,102冊）、複写依頼は55名（複写部数262部、6,550枚）、展示室見学者は4,819名（特別展示会を含む。）であった。

<常設展示会>

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。（見学者4,819名）

<特別展示会>

(i) 春季：4月8日（月）～19日（金）（14日（日）を除く）に「杏雨書屋の植物図譜」をテーマに開催した。（見学者266名）

(ii) 秋季：10月21日（月）～11月1日（金）（22日（祝）を除く）に杏雨書屋開館40周年記念として「医家の詩文と書画」をテーマに開催した。期間中の10月26日（土）、27日（日）は生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪に協賛した。また、11月22日（金）、23日（祝）に神農祭行事として追加開催した。（見学者はトータルで2,211名）

(3) 研究講演会

① 第41回 研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2019年4月13日（土）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：ボタニカルアートの歴史

演 者：小西 美恵子氏（植物画家）

演 題：東西をにぎわす薬用植物～キッチンハーブから生薬・漢方まで～

演 者：野崎 香樹氏（武田薬品工業（株）京都薬用植物園 課長代理）

参加者：124名

② 第42回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2019年10月27日（日）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：上田秋成の伯（叔）父・樋口道与一延享の朝鮮通信使との関係を中心に一

演者：長島 弘明氏（二松學舎大学 特別招聘教授）

演 題：堀景山—曾祖父杏庵と門弟本居宣長—

演者：高橋 俊和氏（盛岡大学 学長）

参加者：75名

(4) 稀覯本購入

神農図 2点

三医神像 1点

張仲景像 1点

新宮涼閣 コレラ病詩 1点

北山寿安医事消息 1点

京都医塾有功館門人姓名録並由緒書 1組

三国志治療之図 1点

ヨンケル「瑞穂草」 3点

ショイベ「日本における病気の臨床所見」 1点

ショイベ「日本人の脚気」 1点

田代玄快肖像画 1点

増地長喬肖像画 2点

切紙下巻 1点

浅田宗伯書簡 1点

頼松庵肖像画 1点

スメリー「産科論」初版 1点

新刊万病回春 5点

大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡 1点

ツェンペリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」 4点

延寿帯効用略記 1点

矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品 37点

室鳩巢先生刻 結髦居別集序 1点

神農像掛軸（小曾戸文庫追加） 4点

以 上

事業報告附属明細書

別表(1) 2019年度研究助成事業概要

別表(2) 2019年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2019年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2019年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2019年度海外研究留学者明細

別表(7) 第10回武田科学振興財団 薬科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者明細



# 2019年度 研究助成 概要

## 武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究へ助成  
(1件 3,000万円 10件)

## 生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる  
独創的な研究へ助成 (1件 1,000万円 29件)

## ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、  
人類の健康増進に寄与する独創的な研究へ助成 (1件 200万円 42件)

## ライフサイエンス研究継続助成

2017年度のライフサイエンス研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件 300万円 4件)

## 医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究へ助成  
(1件 200万円 240件)

## 医学系研究継続助成

2016年度および2017年度の医学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件 300万円 30件)

## 薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究へ助成  
(1件 200万円 40件)

## 薬学系研究継続助成

2016年度および2017年度の薬学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件 300万円 5件)

## 特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究(学内または複数機関  
の融合研究)へ助成 (1件 4,980~5,000万円 13件)

## ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究へ助成  
(1件 200万円 34件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2016年度および2017年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で卓越した研究へ継続助成  
(1件 500万円 10件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2016年度および2017年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究へ継続助成  
(1件 1,000万円 5件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2016年度および2017年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究へ継続助成  
(採択なし)

## 中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高  
等学校の理科教育に貢献する研究または実践へ助成 (1件 30万円 69件)

## 杏雨書屋研究助成

日本在住の研究者を対象に杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究へ助成 (1件 40~95万円 8件)

# 2019年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）  
所属機関・職位は応募時のものです

## 武田報彰医学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
今吉 格	京都大学 生命科学研究科 脳機能発達再生制御学	教授	生後脳ニューロン新生が脳機能発達に与える影響と発達障害との関与の解明
片岡 圭亮	国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野	分野長	先端ゲノム技術を用いたリンパ腫発症の分子病態基盤の統合的解明
栗本 一基	奈良県立医科大学 発生・再生医学講座	教授	組織学と統合された単一細胞遺伝子発現解析技術による生殖細胞の選択・淘汰過程の解明
滝田 順子	京都大学 大学院医学研究科 発達小児科学	教授	多層的オミックス解析による小児期から若年成人（AYA）世代に発生するがんの新規克服法の開発
Danev Radostin	東京大学 大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻 先端構造学分野	教授	G タンパク質共役受容体（GPCR）のクライオ電子顕微鏡による構造解析
塚崎 智也	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	教授	特殊糖タンパク質を排出する病原性細菌トランスロコンの構造基盤の解明
三國 貴康	新潟大学 脳研究所 細胞病態学分野	教授	タンパク質の新規合成に依存する長期記憶の分子基盤
茂呂 和世	大阪大学 大学院医学系研究科 生体防御学教室	教授	2型自然リンパ球による線維化発症機構
山内 敏正	東京大学 医学部 代謝・栄養病態学	教授	糖尿病・代謝疾患の克服と健康長寿実現に向けた方法開発
遊佐 宏介	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 幹細胞遺伝学分野	教授	CRISPR スクリーニングを用いた新規がん化関連因子の網羅的探索と創薬

計 10 件

## 生命科学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋光 信佳	東京大学 アイソトープ総合センター 研究開発部	教授	物理化学的ストレスで誘導される新規核内構造体の構造と機能の解明
新井 郷子	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医科学部門	准教授	血中タンパク質 AIM の活性化メカニズムの解明 - AIM 活性化による疾患制御を目指して -
伊藤 貴浩	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所	教授	分岐鎖アミノ酸代謝変動によるがん進行メカニズムの理解と創薬への応用
井上 圭一	東京大学 物性研究所 機能物性研究グループ 井上研究室	准教授	真核生物の起源に関わる新奇光受容型膜タンパク質ロドプシンの研究
井上 裕介	群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門 分子生物科学研究室	准教授	核内受容体のクロストークによるインスリン非依存性の新規の非アルコール性脂肪性肝炎の発症機序の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
上村 想太郎	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 光計測生命学講座	教授	インテリジェント指向性進化法によるスーパー酵母の創出
大内 乗有	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子循環器医学講座	寄附講座 教授	運動誘発性内分泌因子「マイオネクチン」の血管病における役割の解明
岡部 圭介	慶應義塾大学 医学部 形成外科学	専任講師	自然免疫の破綻と精神神経疾患
奥野 友介	名古屋大学 医学部附属病院	特任講師	ウイルスゲノムの網羅的遺伝子解析に基づいた Epstein-Barr ウイルスの変異ががんにおいて果たす役割の解析
甲斐 歳恵	大阪大学 大学院生命機能研究科 時空生物学講座 生殖生物学研究室	教授	生殖ゲノムを保護する piRNA 生合成経路の包括的解明
Canela Andres	京都大学 大学院生命科学研究科 附属放射線生物研究センター	特定准教授	トポイソメラーゼ 2 のクロマチンループ形成における役割とそれによるゲノム不安定性およびがん性に及ぼす影響
菊地 和也	大阪大学 免疫学フロンティア研究 センター 化学分子イメージング研究室	教授	分子イメージングプローブ創製によって初めて可能となるリアルタイム生命機能解析
小林 慎	産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング センター	主任研究員	X 染色体不活性化ライプイメージング細胞を使ったエピジェネティクス制御の理解とそのコントロール
櫻井 宏明	富山大学 大学院医学薬学研究部（薬学） がん細胞生物学研究室	教授	増殖因子受容体の非リガンド非キナーゼ機能の解明
指田 吾郎	熊本大学 国際先端医学研究機構 白血病転写制御研究室	特別招聘 教授	エピゲノム変化がゲノム変異に先行する造血器腫瘍の病態解明と新規治療法の検証
澤 新一郎	九州大学 生体防御医学研究所 粘膜防御学分野	教授	免疫組織形成および機能維持に重要な間葉系細胞の同定
柴崎 貢志	群馬大学 大学院医学系研究科 分子細胞生物学分野	准教授	脳内温度を介した神経応答がストレス耐性の個体差を産み出す分子機構
菅波 孝祥	名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野	教授	細胞死を核として形成される微小環境による炎症慢性化機構の解明
園下 将大	北海道大学 遺伝子病制御研究所 がん制御学分野	教授	リポフラビン代謝経路が膵臓がん発生に与える影響の解明と新規膵臓がん治療法の開発
竹田 一旗	京都大学 大学院理学研究科 化学専攻	准教授	鉄イオウクラスター含有タンパク質成熟過程の分子機構解明
竹田 真己	高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター システム神経科学研究室	特任教授	仮眠後の睡眠慣性に対するヒト脳内情報動態の解明
谷本 啓司	筑波大学 生命環境系 ゲノム情報生物学研究室	教授	受精後に確立するゲノム刷り込みメカニズムの解明
坪内 英生	東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学センター	助教	クリプトコッカス酵母を用いた HBOC 発症の分子機構の解明と新規治療法開拓へのアプローチ

氏名	所属機関	職位	研究題目
中島 美紀	金沢大学 ナノ生命科学研究所 (医薬保健研究域薬学系兼任) 薬物代謝安全性学研究室	教授	A-to-I RNA 編集およびアデノシンメチル化を介した ヒト薬物代謝酵素の発現制御
中田 慎一郎	大阪大学 大学院医学系研究科 細胞応答制御学	教授	外来性 DNA を用いない超高精度ゲノム編集法の確立
中津 史	新潟大学 医歯学系研究科 神経生化学分野	准教授	メンブレンコンタクトを介した脂質交換輸送による膜 ダイナミクス制御機構の解明
廣田 圭司	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 統合生体プロセス分野	准教授	炎症性 T ヘルパー細胞による組織炎症の分子機構の解 明
廣田 耕志	首都大学東京 理学研究科化学専攻	教授	非コード RNA 転写と共役したクロマチン再編成の普 遍的分子機構の解明
松下 智直	九州大学 大学院農学研究院 農業生物科学講座	准教授	植物の光受容体フィトクロムによる転写開始点制御の 分子機構解明

計 29 件

## ライフサイエンス研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
伊原 伸治	有明工業高等専門学校 環境・エネルギー工学系 環境生命コース	准教授	サプレッサースクリーニングによる凝集タンパク質の 抑制機構の解明とヒト遺伝性希少疾患への応用
岩崎 有作	京都府立大学 生命環境学部 農学生命科学科 生物機能科学講座 動物機能学研究室	教授	腸 GLP-1 の自律神経反射を介したエネルギー代謝亢 進・熱産生作用とその新規作用機構の解明
遠藤 裕介	かずさ DNA 研究所 先端研究開発部 オミックス医科学研究室	室長	制御性 T 細胞分化をプログラムする脂質代謝地図の解 読
大澤 志津江	京都大学 大学院生命科学研究科 (システム機能学)	准教授	細胞集団挙動を介した発生時間軸制御の遺伝的基盤
大澤 拓生	微生物化学研究所 構造生物学研究部	博士研究員	オートファジーにおける大規模脂質輸送装置の分子機 構解明
大原 裕也	静岡県立大学 食品栄養科学部 食品生命科学科 人類遺伝学研究室	助教	特殊な細胞周期・核内倍加によって制御される遺伝子 発現プログラムの解明
小澤 貴明	筑波大学 人間系 心理学域	特任助教	最先端の光ドーパミン計測と神経活動操作が明らかに する精神疾患の脳内メカニズム
鬼塚 和光	東北大学 多元物質科学研究所 生命機能分子合成化学研究分野	准教授	反応性 OFF-ON 型核酸高次構造選択的アルキル化分子 の開発と高選択的阻害剤への展開
鎌形 清人	東北大学 多元物質科学研究所	准教授	DNA 上を動く！速くて正確なゲノム編集タンパク質 の創出
上川内 あづさ	名古屋大学 大学院理学研究科	教授	ヒトスジシマカの配偶行動を制御する聴覚システムの 解析
川田 健太郎	東京大学 アイソトープ総合センター	特任助教	修飾核酸を用いた転写および RNA 分解の同時測定手 法の開発
木矢 剛智	金沢大学 理工研究域 生命理工学系 生命システムコース 昆虫分子生物学研究室	准教授	昆虫の脳高次中枢における行動決断の神経機構の解明
後藤 栄治	九州大学 大学院農学研究院 環境農学部門 森林環境科学講座 造林学分野	助教	植物の光シグナル伝達における新奇制御機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
齋尾 智英	北海道大学 大学院理学研究院 化学部門 構造化学研究室	助教	Low-complexity 配列制御に着目した神経難病発症機構の解明
佐々木 真理子	東京大学 定量生命科学研究所 ゲノム再生研究分野	助教	DNA 複製時の DNA 切断からゲノム安定性を守るメカニズムの解明
島田 裕子	筑波大学 生存ダイナミクス研究センター	助教	セロトニン合成不全が個体発育と老化に与える影響の遺伝学的追究
杉田 征彦	大阪大学 蛋白質研究所 分子創製学研究室	特任助教	クライオ電子顕微鏡によるインフルエンザウイルス・リボ核タンパク質複合体の構造解析
鈴木 郁夫	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 脳機能学分野	准教授	ヒト固有遺伝子による脳進化メカニズムの探求
鈴木 雄太	京都大学 白眉センター	特定助教	タンパク質設計による医薬応用を目指した生体材料の創製
瀬戸 義哉	明治大学 農学部 農芸化学科	専任講師	植物成長制御物質ストリゴラクトンを認識する加水分解酵素型受容体の機能改変
高岡 洋輔	東北大学 大学院理学研究科 化学専攻 有機化学第一研究室	講師	植物ホルモン関連転写因子の選択的阻害薬開発と植物免疫制御
武尾 真	理化学研究所 生命機能科学研究センター 器官誘導研究チーム	研究員	皮膚付属器官を有する三次元再生皮膚器官系の開発
田中 雅史	東北大学 大学院生命科学研究科 (脳機能発達分野)	助教	成熟した社会性の発達とその障害の神経機構
谷本 博一	横浜市立大学 大学院生命ナノシステム科学研究科	講師	定量的な細胞内力学操作技術の開発と生命科学への応用
中村 匡良	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所	特任講師	植物ホルモンシグナルを介した微小管配向制御機構の解析
服部 鮎奈	国立がん研究センター 造血器腫瘍研究分野	研究員	白血病幹細胞の細胞運命を規定する新たな制御機構
羽生田 圭	東京理科大学 生命医科学研究所 分子生物学研究部門 北村研究室	助教	組織常在型 B 細胞記憶の誘導・維持機構の解明
原 雄二	京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 生体認識化学分野	准教授	骨格筋幹細胞における細胞力覚機構の多様性とその意義
平林 祐介	東京大学 工学系研究科 化学生命工学専攻 神経細胞生物学研究室	准教授	細胞内小器官の相互作用によるニューロンネットワーク制御
深谷 雄志	東京大学 定量生命科学研究所 生命動態研究センター 遺伝子発現ダイナミクス研究分野	講師	核内微小環境形成を介した転写制御機構の解明
藤田 大士	京都大学 高等研究院 物質－細胞統合システム拠点 (iCeMS)	准教授	単粒子ケージ化法が切り拓くタンパク質立体構造解析法の新展開
古澤 之裕	富山県立大学 工学部 生物学教室	講師	食物繊維による腸内微小環境の変化と炎症性腸疾患の予防
前澤 創	麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 比較毒性学研究室	講師	哺乳類生殖細胞分化を司るエピゲノム制御機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
松田 泰斗	九州大学 大学院医学研究院 基盤幹細胞学分野	助教	ミクログリアから神経細胞へのダイレクトリプログラミングによる脳梗塞治療戦略の創出
松田 隆志	基礎生物学研究所 統合神経生物学研究部門	NIBB リサーチ フェロー	飲水行動を制御するコレシストキニンの分泌制御機構の解明
丸山 健太	大阪大学 世界最先端研究機構 免疫学フロンティア研究 センター 自然免疫学	特任助教	核酸-メカノセンサー-axis による腸骨連関生体恒常性維持機構の解明と応用
三木 卓幸	東京工業大学 生命理工学院 三原研究室	助教	GPCR 中分子創薬に向けた Tag-assisted ファージディスプレイ法の開発
宮本 圭	近畿大学 生物理工学部 分子発生工学研究室	講師	核内アクチンタンパク質の生物学的意義の解明
柳谷 耕太	奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 河野特任研究プロジェクト	博士研究員	オルガネラ量操作法で明らかにする核-オルガネラコミュニケーション
山岡 尚平	京都大学 大学院生命科学研究所 分子代謝制御学分野	准教授	陸上植物の生殖細胞系列の分化運命を決定する進化的に保存されたメカニズム
山崎 章徳	東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学センター 大隅研究室	特任助教	相分離蛋白質の選択的オートファジーの分子機構の解明
山下 高廣	京都大学 大学院理学研究所 生物科学専攻 生物物理学系 分子生体情報学分野	助教	眼と脳で受容する光情報の統合メカニズム

計 42 件

### ライフサイエンス研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
岩崎 信太郎	理化学研究所 開拓研究本部	主任研究員	抗がん作用をもつ翻訳阻害剤 Rocaglamide A の作用機序の解明
大木 靖弘	名古屋大学 大学院理学研究所 物質理学専攻（化学系）	准教授	生化学と合成化学の融合による酵素活性中心の生合成機構解明
奥村 正樹	東北大学 学際科学フロンティア研究所	助教	PDI ファミリーによるインスリン品質管理機構の解明
谷内江 望	東京大学 先端科学技術研究センター	准教授	不均質ながん細胞集団を個別のクローンに解体して解析する新しい遺伝学技術

計 4 件

医学系研究助成

<がん領域(基礎)>

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋田 裕史	大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学-I	助教	RNA-sequence および最新 FACS を用いた膀胱癌における CAF の特性の解明と CAF を標的とした新規治療戦略の開発
天野 恭志	近畿大学 医学部 生化学教室	助教	Sirt1-NAD <sup>+</sup> 経路による炎症性腸疾患関連大腸がんの抑制機構の解明
飯島 健太	名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学	助教	長鎖非翻訳 RNA による内在性レトロエレメントの動態制御
磯田 健志	東京医科歯科大学 発生発達病態学分野	助教	非コード RNA (ThymoD) の転写障害で生じた T 細胞系腫瘍のスーパーエンハンサー活性化機構の解明
市川 朝永	宮崎大学 医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野	助教	HSP90 活性調節に関わるアルギニンメチル基転移酵素 PRMT5 を標的とした新規阻害剤の開発
伊藤 友香	山梨大学 医学部 生化学講座第2教室	助教	TGF- $\beta$ 誘導性上皮間葉転換におけるシグナル分子 Smad に依存した新規転写活性化メカニズムの解明
井上 大地	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部	上席研究員	スプライシング異常が惹起する発癌機構の解明
大西 紘太郎	岐阜大学 医学部附属病院 生体支援センター(消化器内科)	助教	One carbon metabolism を介する epigenome 変化と癌の進展及び転移との関連性
小川 光貴	名古屋大学 医学系研究科 生物化学講座 機能分子制御分野	助教	がん細胞の運命を決める糖鎖スイッチの機能解析
荻原 秀明	国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野	研究員	クロマチン制御因子欠損がんにおける合成致死治療法の開発
籠谷 勇紀	東京大学 大学院医学系研究科 血液・腫瘍病態学	講師	細胞障害性 T 細胞に対する感受性に関わるがん細胞の特性解明とがん免疫療法への応用
子安 翔	京都大学 医学部附属病院 放射線診断科	特定病院 助教	腫瘍内制御性 T 細胞イメージングの開発ならびに Theranostics への展開
清水 康平	東北大学 歯学研究所 先端再生医学研究センター	助教	がんにおける MCL1 過剰発現機構の解明とその治療応用
高見 真理子	千葉大学 大学院医学研究院 免疫細胞医学	助教	肺癌免疫治療へ向けた NK 細胞による NKT 細胞の抗腫瘍効果に対するアジュバント効果の検討
築茂 由則	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部	主任研究官	翻訳プロファイルに基づいた肺がん進展の分子機構の解明と治療法開発
坪田 庄真	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子生物学	研究員	治療抵抗性から自然退縮まで多様な神経芽腫の 1 細胞解析による分子機構解明
内藤 嘉紀	久留米大学 医学部 病理学講座	講師	ゲノム医療に向けた膵神経内分泌腫瘍における神経内分泌細胞系譜転写因子の機能解析
中川 正宏	京都大学 医学研究科 メディカル イノベーションセンター 腫瘍生物学講座	特定講師	新たな単一細胞解析技術による白血病の発症・進展におけるクローン進化の病態解明
永野 秀和	千葉大学 大学院医学研究院 分子病態解析学	特任助教	ミトコンドリア超複合体解析と多階層解析から捉えるがんと肥満病態の新たな分子基盤
中村 貴紀	東京大学 医科学研究所 分子シグナル制御分野	助教	「中心体複製開始の制御機構」と癌診断/治療におけるその応用
二村 圭祐	大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝子治療学	准教授	卵巣癌臨床検体から同定された静止期癌細胞を標的とする新規人工治療遺伝子の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
林 嘉宏	東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科 腫瘍医科学研究室	講師	骨髄性造血器腫瘍における線維化誘導細胞の同定と機能解析
日比野 沙奈	東京大学 生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携 研究部門	特任研究員	腫瘍由来 DAMPs による T 細胞の機能不全誘導メカニズムの解明
船戸 洋佑	大阪大学 微生物病研究所 細胞制御分野	助教	リソソーム系を介したがん細胞の酸性環境適応機構の解明
松久 幸司	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 分子細胞情報学	助教	小胞体膜貫通型転写因子 OASIS による核膜ストレス制御と制がん作用の解明
松村 寛行	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野	助教	幹細胞競合を介した表皮組織癌化機構の解明
松本 孔貴	筑波大学 医学医療系 臨床医学域 放射線腫瘍学	助教	次世代 BNCT に適応した安全、低価格、高集積性を併せ持つホウ素ナノ粒子製剤の開発
丸橋 拓海	徳島大学 先端酵素学研究所 免疫制御学分野	特任助教	免疫チェックポイント分子 LAG-3 によるがん免疫応答制御機構の解析
水野 礼	京都大学 大学院医学研究科 消化管外科	特定助教	大腸癌の進展・転移過程での腫瘍関連好中球における PGE2/EP4 シグナルの役割に関する解析
宮本 真吾	佐々木研究所 腫瘍細胞研究部	研究員	前がん病変由来オルガノイドの形態変化を利用した大腸癌がん機構の解析
村岡 大輔	長崎大学 大学院医歯薬総合研究科 腫瘍医学分野	准教授	難治性ヘテロ腫瘍モデルを用いた腫瘍間クロストークの解析と新規治療法の開発
八尾 尚幸	九州大学 大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 がん幹細胞医学分野	助教	多発性骨髄腫による血球減少のメカニズムの解明および新規治療法の開発に向けた基礎研究
山田 真太郎	京都大学 大学院医学研究科 遺伝医学講座放射線遺伝学	助教	女性ホルモン、エストロゲンが作るゲノム切断部位の決定
山本 雄介	国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野	主任研究員	腫瘍細胞における細胞外小胞顆粒エクソソームの温度依存的な分泌メカニズムの解明
吉野 裕史	鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 泌尿器科	助教	セリン合成経路の新規膀胱癌治療標的としての可能性とその発現機構の解明

計 35 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
安藤 瑞生	東京大学 医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	講師	Patient-Derived Xenografts モデルを用いた唾液腺癌転移機序の解明
伊東 孝通	九州大学 皮膚科学教室	講師	メラノーマを制御する heat shock protein 90 の新規クライアントタンパクの解析
稲村 健太郎	がん研究会がん研究所 病理部	研究員	個別化免疫療法を目指した肺がん免疫微小環境ネットワークの特徴化
井上 実	京都大学 大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学	助教	がんゲノム医療への導入を見据えたアルブミンのオミックス解析の意義の検討
岩泉 守哉	浜松医科大学 臨床検査医学講座	助教	DNA ミスマッチ修復正常型高頻度変異大腸がんの臨床・分子遺伝学的解明
岩崎 順博	北野病院 糖尿病内分泌内科 第三研究部	副部長	血漿マイクロ RNA プロファイルを用いた糖尿病患者における癌早期スクリーニング法の確立



氏名	所属機関	職位	研究題目
ト部 祐司	広島大学病院 未来医療センター (内視鏡診療科)	診療講師	ヘリコバクター・ピロリ除菌後胃癌に発生する低異型度上皮の発生メカニズムの解明
衣斐 寛倫	愛知県がんセンター研究所 がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野	分野長	BRAF 変異大腸がんに対する個別化医療の開発
加留部 謙之輔	琉球大学 大学院医学研究科 細胞病理学講座	教授	超高感度 RNA in situ hybridization を用いたヒト T 細胞白血病ウイルス転写因子の組織内局在の解明と新規診断法としての活用
河村 英将	群馬大学 大学院医学系研究科 腫瘍放射線学	准教授	肺癌に対する重粒子線治療と免疫療法の併用療法の確立
國政 啓	大阪国際がんセンター 呼吸器内科	診療主任	肺癌腫瘍内不均一性 (Intratumor Heterogeneity) の癌免疫療法に与える影響の解析
國本 博義	横浜市立大学 医学部 血液・免疫・感染症内科学	助教	サイトカインシグナルを介したクローン性造血の進展制御基盤の確立
小山 正平	大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学	助教	がん免疫療法に伴う免疫関連有害事象に関わる宿主因子の検討
坂本 謙一	国立成育医療研究センター 小児がんセンター	フェロー	ランゲルハンス細胞組織球症に合併する神経変性疾患の発症メカニズムの基盤解析
塩田 真己	九州大学 大学院医学研究院 泌尿器科学分野	講師	遺伝子多型を用いた前立腺癌薬物療法の予後予測モデルの開発
清水 孝洋	京都大学 大学院医学研究科 消化器内科	医員	網羅的ゲノム解析による胃癌細胞の起源の同定
園原 史訓	名古屋大学 医学部附属病院 消化器外科二	助教	膵癌タイプ分類に有用な上皮間葉転換関連 tumor-educated platelets の臨床応用
田中 ゆきえ	東京医科歯科大学 統合研究機構 リサーチコアセンター	助教	成人 T 細胞白血病の発症阻止におけるステムセルメモリー T 細胞の役割解明と新規治療法の開発
塚本 祥吉	千葉大学 大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学	特任助教	POEMS 症候群の病態解明と新規治療法の確立
中村 光宏	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 検査技術科学コース 情報理工医療学講座 医学物理学分野	准教授	早期肺癌に対する定位放射線治療成績向上を目的とした Radiomics 特徴量に基づく遠隔転移予測モデルの構築
濱田 晋	東北大学 大学院医学系研究科 消化器病態学分野	助教	膵癌における酸化ストレス応答依存性膵癌保護因子の同定と治療応用
林 洋光	熊本大学 医学部附属病院 消化器外科	助教	膵がんにおける Hippo-pathway を介した癌幹細胞能獲得・癌免疫回避機構の解明と治療法の開発
弘津 陽介	山梨県立中央病院 ゲノム解析センター	研究員 (チーフ)	マイクロサテライト不安定性状態の腫瘍内不均一性に基づく免疫療法の治療効果の解析
藤井 紀恵	藤田医科大学 医学部 輸血細胞治療科	講師	MSC 由来細胞外小胞の T 細胞急性リンパ芽球性白血病に対する治療応用の基礎的検討
藤田 雄	東京慈恵会医科大学 内科学講座 呼吸器内科	助教	エクソソームを用いた免疫チェックポイント阻害剤におけるコンパニオン診断薬開発
本多 隆行	東京医科歯科大学 医学部 呼吸器内科	特任助教	間質性肺炎合併肺がんにおいて線維化が引き起こす、ドライバ遺伝子に依存しない発がん促進的なゲノム異常の同定
松井 崇浩	大阪大学 医学部附属病院 病理診断科	特任助教	多光子励起イメージングから迫るがん浸潤のメカニズムと責任因子の同定

氏名	所属機関	職位	研究題目
三宅 亨	滋賀医科大学 外科学講座	助教	転移リンパ節における間葉系細胞に着目した癌悪性化の機序と解明
由雄 敏之	がん研究会有明病院 消化器内科	副部長	人工知能を使用した内視鏡動画中における食道癌の拾い上げ診断
和田 聡	昭和大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学講座	教授	固形がんにおける糖鎖構造に着目し腫瘍特異性を高めた新規がん免疫療法の開発

計 30 件

## ＜精神・神経・脳領域＞

氏名	所属機関	職位	研究題目
石田 綾	慶應義塾大学 医学部 生理学	専任講師	Cbln ファミリー分子による入力依存的な神経回路変容機構の解明
井上 敬一	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	特任助教	ミトコンドリアオートファジー：その孤発性パーキンソン病への関与
井上 泰輝	熊本大学 大学院生命科学研究部 脳神経内科学講座	特任助教	解糖系酵素に焦点をあてた脳アミロイドアンギオパチーの病態解析と治療法開発
江頭 良明	大阪医科大学 医学部 生理学教室	助教	シナプス小胞内の神経伝達物質量を決定する機構の解析
江夏 怜	札幌医科大学 医学部 脳神経外科学教室	助教	脳溝内の皮質機能の解明
大道 卓摩	京都府立医科大学 神経内科学	研修員	ミクログリア由来および運動神経由来エクソソームに着目した神経変性疾患の血液バイオマーカーの開発
岡田 正康	新潟大学 医歯学総合病院 脳神経外科 (大学院医歯学総合研究科 分子細胞機能学講座)	特任助教	齧歯類から発見した神経成長関連タンパク質のリン酸化発現による霊長類の神経発生と中枢神経疾患解析
菊池 浩二	熊本大学 大学院生命科学研究部 細胞情報薬理学分野	講師	神経回路構築の基盤となるニューロンの新たな極性化メカニズムの解明
後藤 仁志	京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経発生生物学	助教	発生期の神経幹細胞におけるグリコーゲン代謝の調節機構と生理機能の解析
小早川 和	総合せき損センター 整形外科	医師	反応性アストロサイトと末梢血由来マクロファージの遊走が中枢神経系外傷後の治療過程に及ぼす相乗の効果の解析
小峯 起	名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野	助教	末梢免疫反応性変容モデルマウスを用いた神経変性疾患の治療標的の同定
酒井 晶子	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 神経発達学分野	日本学術振興会 特別研究員 RPD	経験による神経回路の発達機構をクロマチン動態から解明する
佐光 亘	徳島大学 医歯薬学研究所 臨床神経科学分野（神経内科）	助教	パーキンソン病の認知機能を反映する機能的脳内ネットワークの同定
佐々木 哲也	筑波大学 医学医療系 生命医科学域 解剖学・神経科学研究室	助教	霊長類型大脳皮質発生・発達異常による自閉スペクトラム症発現機構の解明
芝田 晋介	慶應義塾大学 医学部 電子顕微鏡研究室	専任講師	アルツハイマー病の脳内における早期の病的変化を世界最速の広域イメージング電子顕微鏡によって捉える
首藤 隆秀	久留米大学 医学部 薬理学講座	講師	海馬ドパミン・ノルアドレナリン入力バランス制御によるうつ病治療戦略
鈴木 喜晴	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 遺伝子細胞検査学分野	准教授	中枢神経系における神経軸索径とオリゴデンドロサイトサブタイプによる髄鞘形成機序の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
鈴木 宏昌	東京医科大学 医学部 医学科 薬理学分野	講師	ALS/FTD における Non-coding RNA を介した神経変性メカニズムの解析
征矢 晋吾	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 櫻井研究室	助教	見知らぬ他者との社会的接触を調節する生体機構
武井 智彦	京都大学 大学院医学研究科 高次脳科学講座神経生物学 白眉センター	特定准教授	革新的な神経回路操作技術を用いた脊髄損傷後機能回復メカニズムの解明
田中 大介	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 認知行動医学講座 細胞薬理学分野	助教	味覚刺激により発動する快・不快反応の神経基盤の解明
田辺 章悟	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部	室長	脳内免疫システムによる自閉症の異常な神経回路形成機序の解明
玉田 宏美	名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学	日本学術振興会 特別研究員 PD	c-kit mutant mouse における腸管神経再生促進メカニズム
照沼 美穂	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 口腔生化学分野	教授	アンモニアを起因とした認知機能障害発症機序の解明
鳥塚 通弘	奈良県立医科大学 精神医学講座	学内講師	末梢血マクロファージとヒト iPS 細胞由来神経細胞を用いた精神疾患病態解析
中垣 岳大	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 感染分子解析学	助教	病理組織切片からの高感度異常型プリオンタンパク検出法の開発
中川 直	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 神経筋生理学分野	助教	新生児期大脳皮質 gap junction ネットワークの精神疾患への関与と発症機序の解明
中村 優子	東京大学 大学院総合文化研究科 進化認知科学研究センター	特任助教	大規模疾患横断脳画像データ解析による統合失調症発症の AI 予測
中村 行宏	東京慈恵会医科大学 医学部 医学科 薬理学講座	講師	シナプス前末端分子の微小空間配置から見るシナプス伝達可塑性メカニズムの解明
原 誠	日本大学 医学部 内科学系 神経内科学分野	助教	自己免疫性脳炎における新規細胞表面抗体の網羅的探索と免疫機序の解明
平井 志伸	東京都医学総合研究所 脳発達神経再生研究分野 神経細胞分化プロジェクト	主任研究員	新規脳毛細血管障害の発症機序解明による認知機能回復の試み
平井 高志	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野	助教	神経障害性疼痛モデル脊髄後角における神経細胞およびミクログリアの RNA 制御機構の解明
藤田 慶大	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 神経病理学分野	助教	変異 VCP による胎児期脳形成異常の分子病態に注目した晩発性の前頭側頭葉変性症病態解明
藤田 純一	横浜市立大学 附属病院 児童精神科	講師	児童思春期のインターネット・ゲーム障害の短期入院治療プログラムに関する研究
堀内 泰江	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 統合失調症プロジェクト	主席研究員	中枢神経系の代謝恒常性破綻に着目した統合失調症病態分子機構の解明
堀金 慎一郎	名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 1	助教	自閉スペクトラム症の病態理解にむけたカルシウムシグナリング破綻を原因とする神経回路形成障害の解明
正木 英樹	東京大学 医科学研究所 幹細胞治療部門	特任助教	動物脳高次機能に与える異種細胞の影響の解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
松居 翔	群馬大学 生体調節研究所 代謝シグナル解析分野	研究員	SIRT1 による糖質嗜好性制御の脳内メカニズムの解明
水谷 泰彰	藤田医科大学 医学部 脳神経内科学教室	講師	糖脂質類がメディエーターとなる神経炎症と神経変性疾患での実態解明
溝口 博之	名古屋大学 環境医学研究所 次世代創薬研究センター	講師	依存症抑止に向けたリスク志向な脳の解明
三井 純	東京大学 大学院医学系研究科 分子神経学講座	特任准教授	多系統萎縮症の病態におけるコエンザイム Q10 欠乏の役割について
緑川 光春	東京女子医科大学 医学部 生理学(神経生理学分野)	准講師	中枢神経シナプス前終末における開口放出機構の発達・経験依存的变化
宮部 斉重	日本医科大学 先端医学研究所 細胞生物学	講師	生体イメージングによる Central Nervous System Lupus 病態解明への挑戦
宮脇 寛行	大阪市立大学 大学院医学研究科 神経生理学教室	助教	超大規模電気生理学記録法を用いた記憶情報表現のマルチスケール解析
村上 誠祥	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 神経生理学教室	特任助教	前頭前皮質による衝動性行動のトップダウン制御メカニズムの解明
森 琢磨	信州大学 医学部 医学科 分子細胞生理学教室	助教	MICPCH 症候群病態の X 染色体不活性化による決定機構の解明
森本 芳郎	長崎大学 大学院医歯薬総合研究科 精神神経科学	助教	ロングリード次世代シーケンサーを用いた統合失調症一卵性双生児のゲノム・エピゲノム解析
安田 正治	関西医科大学 医学部 医学科 生理学講座	講師	霊長類セロトニン神経系の光操作によるストレス下での行動制御機構の解明
山西 恭輔	兵庫医科大学 精神科神経科学講座	助教	インターロイキン 18 を中心とした脳内炎症と精神疾患への作用解明

計 49 件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
岩堀 聡子	藤田医科大学 医学部 ウイルス・寄生虫学	講師	ヒトサイトメガロウイルス UL97 の活性制御機構
岡本 徹	大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野	准教授	C 型肝炎ウイルスのコア蛋白質による蛋白質分解機構の解析
金井 祐太	大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野	助教	ロタウイルス感染による下痢発症機構の解明
河部 剛史	東北大学 大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野	助教	新規の T 細胞サブセット「MP 細胞」による感染防御機構
河村 吉紀	藤田医科大学 医学部 小児科学	講師	ロタウイルスワクチンを基盤としたリコンビナント性器ヘルペスワクチンの開発
喜多村 晃一	金沢大学 医薬保健研究域 医学系 分子遺伝学	講師	DNA 編集酵素と修復因子による B 型肝炎ウイルス核内 DNA 制御機構の解明
坂本 啓	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野	助教	宿主免疫機構と常在細菌叢の作用を連携した、病原因子標的療法の開発 ～検査・診断から治療まで～
櫻井 康晃	長崎大学 感染症共同研究拠点 研究部門	助教	複製型ウイルス様粒子を用いたエボラウイルス感染阻害剤の探索
笹井 美和	大阪大学 微生物病研究所 感染病態分野	准教授	感染症制御における Atg8 ファミリーの役割

氏名	所属機関	職位	研究題目
滝沢 直己	微生物化学研究所 第3生物活性研究部	上級研究員	インフルエンザウイルスゲノム RNP の網羅的二次構造解明と機能解析
竹本 訓彦	国立国際医療研究センター 感染症制御研究部	上級研究員	劇症型レンサ球菌感染症を惹起する高病原性レンサ球菌発生機序の解析
谷口 委代	群馬大学 大学院医学系研究科 医学教育センター	助教	マラリア感染の免疫記憶形成に果たす腸内細菌の役割
西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター	専任講師	肺 MAC 症の病態における菌細胞壁脂質の役割
野村 拓志	国立感染症研究所 エイズ研究センター 第二研究グループ	主任研究官	サルエイズモデルを用いた長期ウイルス複製制御に関わるサブドミナント CTL 反応の解析
原 英之	徳島大学 先端酵素学研究所 次世代酵素学研究領域 神経変性病態学分野	助教	ウイルス感染をトリガー因子としたプリオン病モデルの構築と異常型プリオン蛋白質産生メカニズムの解明
廣瀬 亮平	京都府立医科大学 大学院医学研究科 感染病態学/消化器内科学	助教 (併任)	ヒト粘液中の病原体が外部環境から保護されるメカニズムの解明と季節性インフルエンザの治療・診断・予防への応用
本間 一	東京女子医科大学 医学部 国際環境・熱帯医学教室	助教	熱帯熱マラリア原虫におけるミューターを用いた突然変異体創出実験系の開発と DNA ミスマッチ修復機構に関する研究
松尾 淳司	北海道医療大学 新学部設置準備室 (医療技術学部臨床検査学科)	教授	細胞内寄生細菌クラミジア感染による宿主細胞 DNA 損傷の修復制御の解明
松田 重輝	大阪大学 微生物病研究所 細菌感染分野	助教	腸炎ピブリオ毒素分泌のクロストーク現象とその毒性発現メカニズムの解析
丸鶴 雄平	東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野	特任助教	シングルセル解析による単純ヘルペスウイルス遺伝子発現制御機構の解明
宮腰 昌利	筑波大学 医学医療系 感染生物学(微生物学)	准教授	サルモネラの III 型分泌装置エフェクター mRNA による二面的制御機構の解明
山本 武司	久留米大学 医学部 感染医学講座 基礎感染医学部門	講師	肺炎マイコプラズマによる脂質代謝制御を介した免疫調節機構の解明
山本 秀輝	新潟大学 研究推進機構超域学術院 健康寿命医療科学分野(保健学)	特任助教	インフルエンザワクチンにおける新規アジュバント探索に向けた C 型レクチン受容体の機能解析

計 23 件

## &lt;基礎&gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
安藝 大輔	慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室	助教	T 細胞免疫老化の制御メカニズムの解明
足立 直子	神戸大学 バイオシグナル総合研究 センター 分子薬理研究分野	助教	一酸化窒素によるタンパク質 S-パルミトイル化修飾の網羅的な抑制と疾患への関与の解明
有馬 勇一郎	熊本大学 生命科学部 循環器内科	助教	ケトン体合成に注目したミトコンドリア保護作用の分子メカニズム解明
安西 淳	慶應義塾大学 医学部 予防医療センター	助教	動脈硬化進展における新規分子機序の解明
安藤 史顕	東京医科歯科大学 医学部附属病院 腎臓内科	特任助教	新規 PKA 制御法による疾患治療への応用
石渡 遼	防衛医科大学校 医学部 生理学講座	助教	動脈硬化におけるプロスタグランジン E3 の機能の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
井上 剛	東京大学 医学系研究科 慢性腎臓病病態生理学	特任助教	自律神経によって制御される新たな抗炎症・臓器保護機構の解明
梅本 英司	大阪大学 医学系研究科 免疫制御学	准教授	腸内細菌由来の代謝分子、乳酸・ピルビン酸とその受容体 GPR31 による腸管恒常性維持機構の解明
大野 美紀子	滋賀医科大学 薬理学講座	准教授	多機能タンパク質ナルディライジンの巨核球成熟・血小板産生における意義と分泌メカニズムの解明
小原 祐太郎	山形大学 医学部 薬理学講座	准教授	Midnolin 遺伝子の異常によるパーキンソン病の発症機序の解明および創薬を目指した研究
Caldez MatiasJose	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学	特任研究員	RNA 分解制御に関与する分子を標的とした胆管症に対する遺伝子治療の開発
北島 雅之	国立国際医療研究センター 研究所 免疫病理研究部	上級研究員	アレルギー性皮膚炎の重症化に必須な T 細胞の持続的活性化メカニズムの解明
榊原 修平	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫機能統御学	寄附研究 部門助教	全身性エリテマトーデスにおける dsDNA 反応性 B 細胞の親和性成熟機構の解明
櫻井 千恵	鳥取大学 医学部 生命科学科 分子生物学	助教	免疫受容体に依存した生体防御の分子機構～細胞内メンブレントラフィック機構に着目して～
佐藤 叔史	熊本大学 大学院生命科学研究部 病態生化学分野	助教	膵β細胞低酸素ストレス応答における転写抑制因子 BHLHE40 の役割
鹿野 健史朗	大分大学 医学部 神経生理学講座	助教	過食・肥満に関わる新規脳内因子の新たな生理機能解析
白石 学	自治医科大学 総合医学第二講座 心臓血管外科	講師	心筋組織修復メカニズムの解明と新規細胞治療法の開発
榛葉 旭恒	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 ウイルス感染研究部門 免疫制御分野	非常勤 研究員	グルココルチコイドによる免疫機能と自己免疫疾患の亢進機構
菅原 健二	神戸大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学	医員	鉄キレート作用を介したメトホルミンによる新規耐糖能改善メカニズムの解明
杉村 竜一	京都大学 iPS 細胞研究所 齋藤潤教室	特定研究員	マルチオミックスによるヒト iPS 細胞由来造血幹細胞分化誘導における新規分子カスケード解明
関谷 高史	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 免疫制御研究部	室長	カルシニューリン阻害剤の治療効果を規定する因子としての Nr4a1 の解析
田口 昭彦	山口大学 大学院医学系研究科 病態制御内科学講座	助教	小胞体ストレスや概日リズムの異常によって引き起こされる膵β細胞機能不全に共通した病態メカニズムの解明と治療法の開発
武石 一樹	九州大学 大学院医学研究院 消化器・総合外科学	助教	ヒト iPS 細胞由来肝細胞の大量培養システムの構築による肝不全に対する革新的治療法の開発
武田 行正	京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞再生医学	助教	低分子化合物誘導性ベージュ細胞を用いた新規な褐色化メカニズムの解明
谷口 優樹	東京大学 医学部附属病院 整形外科・脊椎外科	助教	メカノセンサーTRPV2 を介した関節軟骨の恒常性維持機構の解明
谷村 信行	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野	助教	細胞競合によるストレス応答機能異常細胞の排除機構の解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
千々松 良太	東京大学 医学系研究科 感覚・運動機能医学講座	日本学術 振興会 特別研究員 PD	間葉系幹細胞移植による軟骨治療において治療効果が 高い細胞を定義する in vitro 指針の開発
土屋 晃介	金沢大学 がん進展制御研究所 免疫炎症制御研究分野	助 教	カスパーゼ-1 による細胞死誘導の分子機序とインフラ マソーム関連疾患における役割
寺脇 正剛	大阪市立大学 医学研究科 分子病態学	助 教	炎症性シグナル分子によって制御される Parkin 非依 存的なミトファジーの分子メカニズムと生理学的意 義の解明
藤堂 景史	滋賀医科大学 医学部医学科 生命科学講座（生物学）	助 教	I型アレルギーでのアレルゲン特異的 IgE 抗体産生にお ける IgD 抗体産生細胞の役割
東梅 友美	山形大学 大学院医学系研究科 内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野	講 師	ステロイド不応性移植片対宿主病（GVHD）の発症メ カニズム解析
徳弘 圭造	関西医科大学 医学部附属生命医学研究所 ゲノム編集部門	学長特命 准教授	新規近位依存性ピオチン標識酵素を用いた ZP2 結合タン パク質の同定
富川 順子	国立成育医療研究センター 研究所 周産期病態研究部	研究員	ヒト子宮内膜脱落膜化に係る 4D スクレオーム解析
富澤 信一	横浜市立大学 医学部 組織学	助 教	正しい精子産生と次世代の発生のための品質管理機構 の解析
中倉 敬	帝京大学 医学部 解剖学講座	助 教	有窓型毛細血管の孔形成を調節する細胞外マトリクス 分子の同定と作用機序の解明
野村 征太郎	東京大学 医学部附属病院 循環器内科 重症心不全治療開発講座	特任助教	拡張型心筋症における DNA 損傷の意義の解明とそれ を標的とした治療法開発
萩山 満	近畿大学 医学部 病理学教室	助 教	接着分子 CADM1 を機軸とする慢性腎臓病尿管間質 病変の形成
橋本 寿之	慶應義塾大学 医学部 救急医学教室	助 教	リプログラミング法を利用した心臓刺激伝導系誘導因 子の探索
長谷川 純矢	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 病態生理化学分野	助 教	酸化ストレスによるイノシトールリン脂質の変動と男 性不妊との関連性
波田 一誠	大分大学 医学部 細胞生物学講座	助 教	肥満における褐色脂肪組織のエネルギー代謝効率低下 の分子機構解明
花田 三四郎	熊本大学 国際先端医学研究機構 血管新生研究室	特定事業 研究員	生体现象における“流れ”の役割を理解する ex vivo 再現培養系の開発と応用
馬場 崇	秋田大学 大学院医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座	助 教	イノシトールリン脂質調節による輸送小胞形成機構の 解明
早瀬 純也	九州大学 医学研究院 生化学分野	助 教	甲状腺の発生および再生過程における濾胞形成メカニ ズムの解明
原 倫太郎 (岩田)	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 脳神経病態学分野	プロジェクト 講師	アンチセンス核酸/RNA 二本鎖に結合する人工カチオン 性分子を用いた、アンチセンス核酸医薬の本質的な 副作用「オフターゲット効果」を抑制する技術の開発
原田 陽一郎	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 システム血栓制御学講座	特任准教授	糖代謝により制御されるがんエクソソームの分泌機構 とその機能
日詰 光治	埼玉医科大学 医学部 中央研究施設 RI 部門	講 師	DNA 複製に伴うクロマチン構造継承機構の原子間力 顕微鏡解析
福田 七穂	新潟大学 脳研究所 (動物資源開発研究分野)	特任講師	神経細胞の形成や維持を担う mRNA 局在化機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
藤井 慎介	九州大学 大学院歯学研究院 □腔顎顔面病態学講座 □腔病理学研究分野	助教	新規オルガノイド培養法を用いた歯数を決定する分子基盤の解明
藤田 英俊	東京医科大学 未来医科学研究寄附講座	講師	ユビキチン・プロテアソーム系を介した着床障害の分子機序の解明
藤巻 慎	熊本大学 発生医学研究所 筋発生再生分野	日本学術 振興会 特別研究員 PD	糖尿病性筋萎縮の克服を目指した新規治療標的の特定：血管－筋線維連関に着目して
藤原 悠紀	国立精神・神経医療研究 センター 神経研究所 疾病研究第四部	外来研究員 (日本学術 振興会 特別研究員 (PD))	核酸を標的とした新規膜透過型オートファジーの制御機構およびその病態生理的意義の解明
細川 裕之	東海大学 医学部 基礎医学系 生体防御学	講師	発生段階特異的な Notch シグナルによる初期 T 細胞分化の制御機構の解明
細見 周平	大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器内科学	講師	肥満細胞における小胞体ストレスを介した腸管線維化メカニズム解析
本藏 直樹	浜松医科大学 医学部 医学科 医生理学講座	助教	血管機能調節による物質輸送供給機構の解明
前川 亮	山口大学 大学院医学系研究科 産科婦人科学講座	講師	遺伝子制御ネットワークと数理モデルから見出したマスター遺伝子による正常子宮内膜細胞からの子宮内膜症細胞の誘導
的場 圭一郎	東京慈恵会医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科	講師	ROCK1 による腎エネルギー代謝調節機構の解明と糖尿病腎症への治療応用
馬淵 洋	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子生命情報解析学分野	助教	単一細胞解析による組織幹細胞クロストークの解明
村上 智彦	大阪大学 歯学研究科 生化学教室	講師	小胞体ストレスと炎症のクロストーク機構の解明
望月 研太郎	東北大学 大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野 (大隅典子研究室)	助教	ヒストン修飾クロストークを介した、生殖細胞運命を規定するエピゲノム動態の解明
森 雅樹	滋賀医科大学 神経難病研究センター 創薬研究部門	部門長、 特任准教授、 卓越研究員	成長を司るドライバー・メタボライトの同定と、成長再生医療の確立
森 亮一	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 (医学系) 病理学	准教授	皮膚完全再生におけるマイノリティー細胞多様性獲得機構の解明
森戸 大介	昭和大学 医学部 生化学講座	講師	もやもや病感受性の分子基盤
森本 和志	京都大学 大学院医学研究科 (分子細胞情報学)	特定研究員	立体構造に基づく新規プロスタグランジン受容体標的化合物の探索
八木 良二	千葉大学 大学院医学研究院 免疫発生学教室	特任准教授	記憶ヘルパー T 細胞の分化制御機構の解明
薬師寺 那由他	東京理科大学 生命医科学研究所 免疫生物学研究部門 伊川友活研究室	助教	ポリコム複合体による合指症の発症機構の解明
八幡 直樹	藤田医科大学 医学部 解剖学 I	助教	ミトコンドリア病誘発変異型 mtDNA を標的とした TALEN の開発
山村 彩	愛知医科大学 医学部 生理学講座 2	助教	肺高血圧症に関与するサイトカイン受容体の DNA マイクロアレイ解析



氏名	所属機関	職位	研究題目
吉田 彩舟	東京慈恵会医科大学 医学部 生化学講座	助教	下垂体の組織発生におけるリン酸化酵素 DYRK2 の機能解析
吉田 崇正	九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科	特任助教	内耳性難聴の病態解明を志向した、特異な蝸牛ナトリウム輸送機構の研究
吉野 剛史	九州大学 大学院医学研究院 応用幹細胞医学部門 統合的組織修復医学	助教	誘導胎児卵巣細胞を用いた機能的な卵子作出
和田 俊樹	金沢医科大学 医学部 免疫学講座	講師	新規ケモカインスカベンジャーによる革新的アレルギー治療戦略

計 71 件

## &lt; 臨床 &gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
井澤 和司	京都大学 大学院医学研究科 発達小児科学講座	助教	疾患特異的 iPS 細胞をもちいた脊椎骨幹端異形成-錐体桿体シストロフィーの病態解明
一瀬 邦弘	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ膠原病内科学分野	講師	全身性エリテマトーデスにおける老化細胞が免疫機能異常に与えるメカニズムの解明
岩部 真人	東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科	特任准教授	身体活動量を評価する新規運動バイオマーカーの開発
内野 裕一	慶應義塾大学 医学部 医学科 眼科学教室	専任講師	眼表面グライコカリックスバリア破綻とアラミン分泌によるアレルギー発症に関する探索
大石 明生	京都大学 医学部 眼科学教室	助教	終止変異をターゲットとした網膜色素変性の治療法開発
甲斐沼 尚	大阪大学 医学系研究科 心臓血管外科	助教	重症心不全に対する個別化医療の実践：Artificial Intelligence を用いた治療アルゴリズムの確立
覚道 奈津子	関西医科大学 形成外科学講座	講師	ヒト脂肪幹細胞を用いた新しい乳房再建術の確立
加治屋 幹人	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 歯周病態学研究室	助教	3次元間葉系幹細胞集塊の YAP/TAZ メカノトランスダクション制御による骨オルガノイドの創生
楠瀬 賢也	徳島大学 循環器内科学	助教	Deep Learning による壁運動異常評価自動診断技術の確立
小林 達也	千葉大学 医学部附属病院 婦人科	技術職員	プロラクチン経路を標的とした母乳分泌不全関連遺伝子の網羅的解析
小山 晃英	京都府立医科大学 地域保健医療疫学	助教	血管不全進行度を検出する新規血中バイオマーカー MR-proADM の検討
笹井 蘭	京都大学 大学院医学研究科 内科学講座 臨床免疫学	助教	自己免疫の特徴をもった間質性肺炎 (IPAF) における特異的自己抗体と対応抗原の同定と臨床的意義の探求
住田 隼一	東京大学 大学院医学系研究科 皮膚科	講師	免疫関連皮膚疾患に関わる新規脂質代謝関連分子の網羅的探索と機能解析
高木 岳彦	国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部 整形外科	診療部長	先天性横軸形成障害 (前腕欠損、上腕欠損) に対する筋電義手の開発
田尻 和子	筑波大学 医学医療系 循環器内科	助教	免疫統合オミクス解析による免疫チェックポイント阻害薬心筋炎の免疫機構の解明
多田 隼人	金沢大学 附属病院 救急部	助教	網羅的遺伝子解析による新規 Lp (a) 関連分子の同定とその機能解析
中川 良	千葉大学病院 消化器内科	医員	原発性胆汁性胆管炎における T 細胞の活性化機構の解明とその治療への応用
永田 尚義	国立国際医療研究センター病院 消化器内科	医員	大規模マイクロバイオーム解析によるアスピリン起因性腸粘膜傷害の発症メカニズム解明と予防治療の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
中村 昭伸	北海道大学病院 内科Ⅱ	診療講師	膵β細胞内ブドウ糖代謝に着目した新たな2型糖尿病治療法の確立
中村 達朗	東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 放射線動物科学研究室	特任助教	食物アレルギーの治療マーカーの探索
夏賀 健	北海道大学病院 皮膚科	講師	荷重部皮膚を標的としたロコモティブシンドロームの分子的基盤の解明
西宮 健介	東北大学 循環器内科学	助教	尿酸塩結晶による冠動脈局所炎症を標的とした先進的画像評価法の開発
根来 宏光	筑波大学 医学医療系臨床医学域 腎泌尿器外科	講師	大規模住民コホート調査による夜尿症と夜間頻尿の疫学・遺伝子解析
濱本 周造	名古屋市立大学 大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野	講師	結晶成長学・流体力学・鉱物学的プロファイリングを用いた腎結石診断の新規バイオマーカーの開発
平本 貴史	自治医科大学 医学部 生化学講座 病態生化学部門	ポストドクター	血友病Bに対する患者由来細胞を用いた「ゲノムを切らない」遺伝子治療法の開発
藤岡 正人	慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科	専任講師	iPS創薬技術とIoT/AIを用いたバーチャル治験のアプローチによる難聴・めまいの発作予測法の開発
細川 晃平	金沢大学 附属病院 高密度無菌治療部	助教	HLA-B*40:02が提示する再生不良性貧血自己抗原の同定
松尾 佳美	広島大学 医歯薬保健学研究科 皮膚科学	医科診療医	皮膚アレルギー疾患における皮膚マスト細胞とILC2の役割解明およびそれに基づく薬物治療ターゲットの探索
三村 維真理	東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科	助教	TIMP2を介した、ヒストン修飾酵素Ezh2阻害による腎線維化抑制機構の解明
村上 祐介	九州大学 大学院医学研究院 眼科学	助教	マイクログリアのゲノム酸化応答制御による網膜変性治療薬の開発
山口 慎太郎	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科	特任助教	腸管NAMPT-NAD <sup>+</sup> 合成系を標的としたインクレチン分泌制御によるインスリン初期分泌不全の新規治療法開発を目指したトランスレーショナルリサーチ
吉野 浩教	弘前大学 大学院保健学研究科 放射線技術科学領域	助教	放射線組織障害の評価・予測に有用なExosome内在因子の探索と放射線治療の最適化のための基盤研究

計 32 件

医学系研究継続助成

<がん領域（基礎）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
荒木 真理人	順天堂大学 大学院医学研究科 輸血・幹細胞制御学	准教授	変異型分子シャペロンによるサイトカイン受容体活性化メカニズムの解明
金関 貴幸	札幌医科大学 医学部病理学第一講座	講師	HLA リガンドーム解析によるがん組織ネオアンチゲンスクリーニング
田中 宏樹	京都大学 医学研究科 メディカル イノベーションセンター 悪性制御研究ラボ	特定助教	白血病発症における微小環境の役割とその制御機構の解明

計 3件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
石本 崇胤	熊本大学 医学部附属病院 消化器癌先端治療開発学 寄附講座	特任准教授	腫瘍炎症環境において間質に依存したスキルス胃癌幹細胞性維持機構の解明
齋藤 朗	東京大学 医学部附属病院 呼吸器内科	助教	肺癌における転写ネットワークの類型分析
安田 浩之	慶應義塾大学 医学部 呼吸器内科	専任講師	肺癌における希少癌および難治癌を標的とした研究基盤の確立

計 3件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
安部 力	岐阜大学 大学院医学系研究科 神経統御学講座生理学分野	准教授	延髄 C1 ニューロンの出力異常と過敏性腸症候群の関係解明
今居 謙	順天堂大学 大学院医学研究科 パーキンソン病病態解明研究 講座	先任准教授	ミトコンドリア変性によるパーキンソン病の発症機序解明と治療的試み
上阪 直史	東京大学 大学院医学系研究科 神経生理学教室	講師	シナプス刈り込みにおける DNA メチル化とレトロトランスポソンの役割
真仁田 聡	山梨大学 大学院総合研究部 医学域生理学講座 神経生理学教室	助教	運動学習における小脳プルキンエ細胞の役割の解明
森 康治	大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学	助教	前頭側頭葉変性症における病原性反復 RNA の蓄積機序
山田 洋	筑波大学 医学医療系 認知行動神経科学	助教	欲求に応じて行動を調節する神経回路の解明：モデル動物を用いた研究

計 6件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
芦田 浩	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野	准教授	病原細菌による新たな細胞死抑制機構の解明
長嶋 茂雄	自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 ウイルス学部門	講師	E 型肝炎ウイルスの感染感受性を決定する宿主因子の同定とその相互作用の解明
野間口 雅子	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 微生物病原学分野	教授	HIV-1 ゲノム内 SA1D2prox 塩基配列による Vif 発現調節機構の解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
渡士 幸一	国立感染症研究所 ウイルス第二部	主任研究官	肝炎ウイルスの新規侵入コファクターの解析と感染トロピズム決定機序

計 4 件

## &lt;基礎&gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
伊藤 美菜子	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室	講師	脳梗塞慢性期の制御性 T 細胞による組織修復機構の解明
小野 悠介	熊本大学 発生医学研究所 筋発生再生分野	独立准教授	骨格筋幹細胞の自己筋組織化メカニズムの解明と再生医療への応用
金川 基	神戸大学 大学院医学研究科 分子脳科学分野	講師	新規の糖鎖修飾体“リピートルリン酸”の異常による筋ジストロフィー病態の解明と治療法開発
木村 俊介	北海道大学 大学院医学研究院 解剖学講座 組織細胞学教室	助教	特殊上皮 M 細胞における受容体依存的トランスサイトosis機構の解明
阪口 雅司	熊本大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科	特任助教	メタボリックシンドロームにおける褐色脂肪組織再生の分子機構の研究
中濱 泰祐	大阪大学 大学院医学系研究科 神経遺伝子学教室	助教	内在 2 本鎖 RNA による免疫恒常性維持機構の解明
中村 修平	大阪大学 高等共創研究院 大学院医学系研究科 遺伝学教室	准教授	TFEB およびオートファジーによる協調的な損傷リソソーム修復機構の解明
古川 健太郎	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	特任助教	マイトファジーレセプターAtg32 の負の制御機構の解析
宮田 治彦	大阪大学 微生物病研究所 遺伝子機能解析分野	助教	カルシニューリンによる精子受精能力調節機構の解明

計 9 件

## &lt;臨床&gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
小木曾 聡	京都大学 医学研究科 肝胆膵移植外科	助教	4次元 MRI による肝移植後グラフト門脈血流解析 ～過小グラフト症候群の克服へ向けて～
亀倉 隆太	札幌医科大学 医学部附属フロンティア医学 研究所 免疫制御医学部門	講師	新規 Tfh 細胞サブセットを標的とした IgG4 関連疾患 の治療法の開発
高橋 勇人	慶應義塾大学 医学部 皮膚科学教室	専任講師	新規ヘルパー T 細胞サブセットの同定と皮膚炎モデル における役割の検討
原田 美由紀	東京大学 医学部 産婦人科	講師	多嚢胞性卵巣症候群の新規治療戦略の開発～局所高ア ンドロゲン状態が惹起する卵巣局所環境異常から病態 に迫る～
福田 晃久	京都大学 医学部附属病院 消化器内科	助教	膵臓がんにおけるクロマチンリモデリング因子 Arid1A の機能的役割とその作用機序の解明

計 5 件

薬学系研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
青木 重樹	千葉大学 大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室	助教	ケラチノサイトを用いた HLA の関与する薬疹発症機序の解明
家田 直弥	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 薬化学分野	助教	低エネルギー光で制御可能なケージド化合物群の開発
井川 貴詞	大阪大学 大学院薬学研究科	准教授	医薬品開発に資する新規軸不斉分子構築法の開発
伊藤 慎悟	熊本大学 大学院生命科学研究部(薬学系) 微生物薬学分野	准教授	肥満を伴わない糖尿病発症におけるオーファントランスポーターの関与
衣斐 大祐	名城大学 薬学部 薬品作用学研究室	助教	セロトニン 5-HT <sub>2A</sub> 受容体を介した抗うつ作用に関わる神経ネットワークの探索と抗うつ関連分子の研究
梅澤 啓太郎	東京都健康長寿医療センター 老化機構研究チーム(プロテオーム)	研究員	老化機構解明研究に資する多硫化修飾タンパク質の網羅的解析技術の確立
大山 要	長崎大学 生命医科学域(薬学系) 実践薬学分野	准教授	神経精神ループスに特異的な免疫複合体の形成阻害による根治療法の創出
岡田 欣晃	大阪大学 薬学研究科	准教授	内皮間葉転換を逆行させる戦略による線維化疾患治療法の開発
奥平 桂一郎	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬学域 製剤分子設計学分野	准教授	アルツハイマー病治療に向けたアミロイドβ貪食促進化合物の探索
尾花 理徳	大阪大学 大学院薬学研究科 臨床薬効解析学分野	助教	ポドサイトの転写因子が織り成す細胞間相互作用に着目した新規慢性腎臓病病態形成機構の解明
垣内 力	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科(薬学系) 生体応答制御学	教授	グラム陽性細菌の病原性発現に必要な RNA 相互作用分子群の探索とその分子機能の解明
加藤 百合	岡山大学 自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門	特任助教	プリン作動性化学伝達を標的とした慢性疼痛抑制メカニズムの解明
金子 雅幸	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 分子細胞情報学	准教授	ライソゾームにおけるタンパク質分解を制御するユビキチンリガーゼを標的とした薬物の同定
川原 浩一	新潟薬科大学 薬学部 薬効薬理学研究室	准教授	新規パターン認識受容体を標的としたアルツハイマー病治療法の開発
川見 昌史	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 医療薬剤学研究室	助教	肺胞上皮におけるオーファントランスポーター-RhCG の特性解析と肺線維症との関連解析
北見 俊守	理化学研究所 生命医科学研究センター 融合領域リーダー育成プログラム 細胞エネルギーシステム研究 YCI ラボ	上級研究員	ケミカルジェネティクスによる NLRP3 インフラマソーム活性化機構の解明
久保山 友晴	富山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学分野	助教	M2 マイクログリアによる軸索伸長作用を介した新規脊髄損傷治療法の開発
倉永 健史	京都大学 大学院薬学研究科 システムケモセラピー・制御分子学分野(医薬創成情報科学専攻)	助教	生合成酵素の化学合成ルアーフィッシング
小林 正紀	北海道大学病院 薬剤部	准教授	クロザピン誘発性流涎症(CIS)の発現機序の解明と新規治療法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
嵯峨 裕	東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 生物有機化学研究室	助教	多機能モジュールを有する新規亜鉛触媒の創出と医薬リード開拓への展開
澤間 善成	岐阜薬科大学 薬品化学研究室	准教授	複素環式化合物を基軸としたグリーンサステナブル骨格構築法の開発
高橋 忠伸	静岡県立大学 大学院薬学研究院 生化学講座	准教授	医療、衛生、学術への応用を志向したウイルス酵素の蛍光イメージング技術の開発
堤 良平	東北大学 大学院薬学研究科 生体防御薬学分野	助教	がん増殖抑制の標的としてのシグナリングエンドソーム
出山 諭司	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	助教	即効性抗うつ薬の作用発現における TRPC チャンネルの役割解明と創薬応用
富田 淳	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野	講師	ショウジョウバエを用いた神経細胞レベルでの眠気の測定とその応用
中島 啓	東京大学 大学院薬学系研究科 免疫・微生物学教室	助教	末梢組織特異的常在細菌を介した制御性 T 細胞によるアレルギー反応制御機構の解明
ナマシバヤム ガネッシュパン ディアン	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 ナマシバヤムグループ	講師	人工エピジェネティックスイッチを用いた核・ミトコンドリア内における心筋症関連遺伝子の制御
西村 明幸	九州大学 大学院薬学研究院 創薬育薬研究施設統括室	講師	ミトコンドリア品質に着目したフィラミンミオパチー発症メカニズムの解明と治療戦略の構築
根本 哲宏	千葉大学 大学院薬学研究院 薬化学研究室	教授	創薬研究に資するポリスピロ化合物の新規合成法開発と展開
野村 鉄也	昭和薬科大学 薬剤学研究室	助教	免疫逃避機構の克服と転移抑制を実現可能な新規がん擬似血管ワクチン療法の開発
平山 祐	岐阜薬科大学 薬学部	准教授	生体内へムを「見る」「制御する」新たな分子技術の開発
福田 達也	徳島大学 大学院医歯薬学研究部(薬学域) 衛生薬学分野(小暮健太郎教授)	助教	がん細胞由来エクソソームとアジュバント搭載リボソームの融合を利用した新規脂質微粒子型がんワクチン開発
藤岡 優子	微生物化学研究所 構造生物学研究部	上級研究員	液-液相分離によるオートファジー始動の制御機構
松永 茂樹	北海道大学 大学院薬学研究院 薬品製造化学研究室	教授	ヨードニウム転移による多官能基性超子価ヨウ素化合物の合成と $\alpha$ 線放出核種迅速導入への展開
松村 隆之	国立感染症研究所 免疫部	主任研究官	新規免疫細胞の機能解明に基づいた人食いバクテリアへの創薬研究
矢野 健太郎	高崎健康福祉大学 薬学部 生物薬剤学研究室	助教	濾胞性リンパ腫の再発時における薬物耐性亢進メカニズムの解明
山田 勇磨	北海道大学 大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室	准教授	心筋症治療用ミトコンドリア DDS の開発
山本 佐知雄	近畿大学 薬学部 創薬科学科 薬品分析学研究室	講師	高機能化マイクロチップを用いる糖鎖の全自動高速構造解析法の開発
横山 悟	富山大学 薬学部 がん細胞生物学研究室	准教授	転写因子 SOX10 による腫瘍免疫監視からの逃避機構の解明とその治療応用
吉田 和真	九州大学 大学院薬学研究院 医薬細胞生化学分野	助教	DNA 損傷修復関連ヘリカーゼ MCM8/9 の機能解析と阻害剤探索によるがん選択的シスプラチン/オラパリブ増感療法の開発

計 40 件

薬学系研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
小川 美香子	北海道大学 大学院薬学研究院	教授	がん免疫を評価する分子イメージング法の開発
菊地 晴久	東北大学 大学院薬学研究科 医薬資源化学分野	准教授	多様性拡大抽出物が生み出す生物活性指向型化合物ライブラリー
櫻井 文教	大阪大学 大学院薬学研究科 分子生物学分野	准教授	ウイルス製剤のドラッグ・リポジショニングによる肝線維化治療薬の開発
細井 徹	広島大学 医歯薬保健学研究科 治療薬効学研究室	准教授	細胞間相互作用による新規小胞体ストレス応答機構解明と肥満治療開発戦略
矢吹 梯	東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野	助教	FABP3 欠損マウスにおける恐怖記憶消去機構障害の神経薬理学的研究

計 5 件

特定研究助成

機関名	代表者	部科・職位	研究題目
大阪市立大学	徳永 文稔	大学院医学研究科 分子病態学 教授	腸内細菌が惹起する炎症の分子基盤解析と疾患との関連
岐阜大学	鈴木 健一	研究推進・社会連携機構 生命の鎖統合研究センター 教授	糖鎖機能の化学的制御と 1 分子追跡による免疫賦活化の新規戦略
京都産業大学	遠藤 斗志也	総合生命科学部 教授	膜輸送を介したオルガネラ恒常性維持と細胞機能制御
京都大学	渡邊 大	医学研究科 教授	脳機能再建に向けた潜在的な神経可塑性機構の解明と移植神経細胞の機能的成熟促進因子の探索
国立がん研究センター	松村 保広	先端医療開発センター 新薬開発分野 分野長	がんの間質をターゲットとする新規抗体医薬開発
国立成育医療研究センター	深見 真紀	分子内分泌研究部 部長	集学的アプローチによるヒトの性の多様性の解明
国立精神・神経医療研究センター	株田 智弘	神経研究所 疾病研究第四部 室長	新規膜透過型オートファジーに基づく神経・筋疾患の病態解明と治療法開発基盤
静岡大学	河岸 洋和	グリーン科学技術研究所 グリーンケミストリー研究部門 教授	高等菌類からの医薬候補物質の探索とその作用機構解明
首都大学東京	川原 裕之	大学院理学研究科 生命科学専攻 教授	プレエンブティヴ品質管理の構造理解を基盤とした疾患防御の新原理解明
徳島大学	岡崎 拓	先端酵素学研究所 免疫制御学分野 教授	自己とがんに対する免疫制御機構の解明
山口大学	清木 誠	大学院医学系研究科 教授	3次元臓器構築メカニズムを活用した個別化予測医療に向けた AI・システム医学解析プラットフォームの樹立
山梨大学	小泉 修一	大学院総合研究部 医学域 薬理学 教授	グリア細胞による階層横断的な脳-免疫連関制御と疾患
立命館大学	稲津 哲也	薬学部 薬学科 教授	稀少・難治疾患の統合的研究-基礎研究から治療法の開発まで-

計 13 件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

氏名	所属機関	職位	研究題目
上田 洋司	藤田医科大学 総合医科学研究所 難病治療学	助教	がん転移や神経変性疾患などのエクソソームを介した病変部位の拡大に関する新規翻訳後修飾 UBL3 化によるタンパク質輸送機構の解析
浅野 竜太郎	東京農工大学 大学院工学研究院 生命機能科学部門 池袋津川浅野研究室	准教授	医療応用促進に向けた一本鎖抗体に特異的かつ汎用的に結合する核酸アプタマーの開発
安部 健太郎	東北大学 大学院生命科学研究所 脳機能発達分野	教授	社会学習に関連する脳内可塑性のライブ観察と操作
石谷 太	群馬大学 生体調節研究所 個体統御システム分野	教授	超短命魚ターコイズキリフィッシュを用いた個体老化機構の解明と、それを基盤とした健康寿命延伸技術の開発
大橋 紹宏	国立がん研究センター 先端医療開発センター ゲノムトランスレーショナル リサーチ分野	ユニット長	癌細胞における染色体不安定性が引き起こす細胞内ストレス反応
小田 裕香子	京都大学 ウイルス再生医科学研究所 組織恒常性システム分野	助教	生体由来バリア形成因子の作用機序の解明とその応用
川上 秀史	広島大学 原爆放射線医科学研究所 分子疫学研究分野	教授	筋萎縮性側索硬化症の発症予防と治療法の開発を求めて
木村 哲也	大阪大学 免疫学フロンティア研究 センター 発癌制御分野	特任研究員	世界から肥満症をなくすー脂質代謝に免疫細胞が及ぼすインパクトー
口丸 高弘	自治医科大学 分子病態治療研究センター 分子病態研究部	講師	Seed and Soil 説の実体解明
久堀 智子	岐阜大学 大学院医学系研究科 病原体制御学分野	准教授	細菌の感染戦略が切り拓く新規ユビキチン制御機構の解明
齊藤 治美	玉川大学 脳科学研究所 小松研究室	嘱託研究員	霊長類の高次脳機能領域における機能的神経回路探索ツールの開発
佐々木 真理	大阪医科大学 医学部 生命科学講座 生理学教室	講師	電気シグナルに操られる細胞
笹栗 弘貴	理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経老化制御研究チーム	研究員	生体内塩基編集技術を利用した新規遺伝子治療によるアルツハイマー病克服に向けて
神出 誠一郎	東京大学 大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 精神医学分野	准教授	パターン分離課題における歯状回苔状細胞の役割についての解明
寿野 良二	関西医科大学 医学部 医化学講座	講師	GPCR-シグナルトランスデューサー複合体の構造情報に基づいた迅速で合理的な創薬技術の開発
田口 歩	愛知県がんセンター 分子診断トランスレーショナル リサーチ分野	分野長	クリニカルプロテオミクスに基づく難治癌の革新的治療法開発
辻田 和也	神戸大学 バイオシグナル総合研究 センター 生体膜機能研究分野	講師	細胞膜張力によるがん浸潤・転移の制御機構の解明と治療への応用
徳原 大介	大阪市立大学 大学院医学研究科 発達小児医学	講師	肝炎ウイルスによらない先天性心疾患術後の特殊な肝硬変に特化したバイオマーカーの開発



氏名	所属機関	職位	研究題目
中町 智哉	富山大学 大学院理工学研究部 (理学)	講師	ゼブラフィッシュを用いた新規脳梗塞治療薬スクリーニング法の開発
中本 伸宏	慶應義塾大学 医学部 内科学 (消化器)	准教授	原発性硬化性胆管炎の病態解明、および新規治療法の開発
西 裕志	東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科	助教	感覚神経と自然免疫 (固形臓器炎症) のクロストーク
西尾 純子	東京大学 生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門	特任助教	腸管常在バクテリオファージの腸内生態系における役割及び宿主生命現象への関与機構
橋本 均	大阪大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野	教授	中枢創薬を加速する全脳細胞研究
長谷川 恵美	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	助教	ポジティブな感情を欠損させたマウスの睡眠・覚醒と行動変化の関係性の探索
平間 崇	東北大学病院 呼吸器外科	特任助手	肺移植後の抗体関連拒絶反応
細野 祥之	愛知県がんセンター研究所 がん標的治療 TR 分野	ユニット長	癌化しない細胞における運命決定メカニズムの探索とその細胞を持つ個体の作出
松原 輝彦	慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科	専任講師	腸内細菌が制御する上皮細胞提示糖鎖の探索
真里谷 奨	札幌医科大学 医学部 産婦人科学講座	助教	異常浸潤胎盤のがん類似形質に着目した新規診断バイオマーカーの確立
水口 剛	横浜市立大学 医学部 遺伝学	講師	ロングリードシーケンサーを用いた疾患ゲノム解析法の確立
向井 淳	筑波大学 プレジジョン・メディスン開発 研究センター 神経・免疫分野	教授	精神疾患におけるヒストンメチレーションの役割の解明と新しい治療薬・治療法の開発
安原 崇哲	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 放射線分子医学部門	助教	転写活性化領域における DNA 二重鎖切断応答の統合的理解を通じたがんゲノム異常発生機構の解明
矢野 真人	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 神経生物解剖学分野	准教授	神経変性疾患におけるエングマティック RNA 群の操作と治療応用
山口 新平	大阪大学 大学院医学系研究科 幹細胞病理学講座	助教	脳の恒常性維持におけるインプリンティングの役割
脇 裕典	東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科	講師	褐色・ベージュ脂肪細胞の環境応答と肥満・加齢によるその破綻の統合的理解

計 34 件

## ビジョナリーリサーチ継続助成 (ホップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
有馬 隆博	東北大学 大学院医学系研究科 情報遺伝学分野	教授	胎盤幹細胞を用いた再生医療への応用
大石 由美子	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)	教授	筋難病に対する細胞移植治療を見据えた骨格筋幹細胞の新規培養法の開発
久保田 義顕	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室	教授	血管ネットワーク多様性の獲得原理
桑子 賢一郎	慶應義塾大学 医学部 生理学教室	特任准教授	神経回路接続の設計図の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
小泉 修一	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 薬理学講座	教授	グリア細胞のCa <sup>2+</sup> 興奮性異常からみた各種脳疾患の診断及び治療戦略
柴田 淳史	群馬大学 大学院医学系研究科 大学院教育研究支援センター	研究講師	DNA修復経路操作を可能とする創薬開発に向けた分子標的の探索
鈴木 淳史	九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野	教授	消化器系器官におけるダイレクトリプログラミング研究
仲嶋 一範	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室	教授	神経細胞の生存を守る内在性機構の解明
鳴海 覚志	国立成育医療研究センター 分子内分泌研究部	基礎内分泌 研究室長	MIRAGE 症候群の治療法開発
林 洋平	理化学研究所 バイオリソース研究センター iPS 細胞高次特性解析開発チーム	チーム リーダー	「染色体編集」法の開発

計 10 件

### ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
家田 真樹	筑波大学 医学医療系 循環器内科	教授	直接リプログラミングによる心臓再生
岡田 随象	大阪大学 大学院医学系研究科	教授	疾患感受性遺伝子を用いたゲノム創薬手法の開発
小早川 高	関西医科大学 附属生命医学研究所 神経機能部門	学長特命 准教授	嗅覚創薬を司る分子実体の解明
小林 拓也	関西医科大学 医学部 医化学講座	教授	GPCR のオリゴマー化を標的にした新しい創薬展開を目指して
丸山 達生	神戸大学 大学院工学研究科 応用化学専攻	准教授	細胞内分子の自己組織化による抗ガン機能の発現

計 5 件

### ビジョナリーリサーチ継続助成 (ジャンプ)

(採択なし)

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋田 薫	京都府立南陽高等学校・附属中学校	教諭	STEAM 教育を軸とした教科横断的な課題解決型学習プログラムの開発
飯田 広史	東大阪市立弥刀中学校	教諭	ヴァーチャルリアリティを組み込んだ体験型天文学習プログラムの開発
石田 剛志	千葉大学教育学部附属中学校	教諭	中学校理科第2分野地学領域を体系的に学習するための授業プログラム開発
伊藤 真弓	青森県立青森第一養護学校	教諭	肢体不自由教育における主体性を身につけるための理科学習の在り方～ウェアラブルカメラを用いた主体的な観察活動の保障～
伊藤 裕一	匝瑳市立八日市場第一中学校	教諭	観測体験を通じた地球科学・物理学分野の学習～大学との連携、ICT教材活用～
長田 典子	つくば市立春日学園義務教育学校	教諭	春日学園地区の自然環境調査と環境保護活動への取り組み
影山 貴大	津山市立久米中学校	教諭	地域企業と連携した「ものづくり」を主題にした応用科学の授業づくり
川島 健治	法政大学中学高等学校	教諭	「主体的・対話的で深い学び」を目指した静電気の授業
齋藤 弘一郎	宮城県古川黎明中学校	教諭	中学校における流星の電波観測システム構築と実践
墨野倉 伸彦	立教新座中学校・高等学校	教諭	トレイルカメラを活用した自然観察の定量化と探究的な学習
高木 一恵	嘉麻市立山田中学校	教諭	ホタルと鮭の人工飼育と放流に関する活動
高橋 弾	釧路市立幣舞中学校	教諭	「波」の概念を活用した物理・地学の単元横断的なカリキュラムの開発 - 「音」と「地震波」を関連付けた防災学習の実践と評価 -
高橋 政宏	静岡大学教育学部附属静岡中学校	教諭	緯度の異なる多地点における、透明半球を用いた太陽の日周運動同時観測と教材の開発
中西 一雄	守山市立明富中学校	教諭	理科授業における能動的・協働的で深い学びの実現に向けたICT活用の試み
永野 猛人	春日市立春日東中学校	主幹教諭	理科大好きな子どもを育む持続可能な理科実験教室の創造～3つの体験実験の充実を通して～
丹羽 孝良	桐生市立新里中学校	教諭	電流分野での新教材「海藻電池」の改良に関する実践的研究
原口 栄一	鹿児島市立甲東中学校	教諭	多面的・多角的な教材開発を通じた放射線教育の単元化
福田 哲也	追手門学院大手前中学校	教頭	最先端のロボット・プログラミング教育の普及と啓発
松岡 雅忠	駒場東邦中学校	教諭	結晶の美しさを実感できる教材開発-OHPシートを活用した体験実験-
山本 浩大	奈良教育大学附属中学校	教諭	奈良県におけるナヨクサフジの分布拡大による影響と防除方法～部活動を通して足元の自然を見る～
山本 理恵	神戸市立布引中学校	教諭	感動があり理解を深めやすい「マイクロスケール実験」の実践

計21件

<高等学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
安齋 朗	千葉県立松戸南高等学校	教諭	千葉県北西部のヘイケボタル個体群の遺伝子多型の解析とその教材化
板口 徹郎	大阪府立大手前高等学校	教諭	銅樹生成時に生じる周期沈殿
祝 弘樹	山村国際高等学校	教諭	2型糖尿病モデルマウスからインスリン抵抗性の改善を探る(山村学園 山村国際高校 生物部の活動)
岩船 浩孝	東京都立立川高等学校	教諭	「武蔵野の郷土の自然の再生」を通じた継続可能な環境教育の推進

氏名	所属機関	職位	研究題目
上野 智	明星中学校明星高等学校	教諭	身近な環境微生物が持つ予想外の生存能力や共生・競合関係の解明
戎井 一史	兵庫県立明石南高等学校	教諭	雨水および地下水成分の季節変動とその要因に関する考察
遠藤 直哉	福島県立福島高等学校	教諭	マツタケとシイタケの細胞融合で作られたキノコの品質を安定させる技術の開発
大津 浩一	名古屋経済大学市邨高等学校中学校	特任教諭	森林測定と重力の大きさが発芽・成長に及ぼす影響ー長期的視野、短期的視野の涵養ー
大塚 未来	早稲田大学本庄高等学院	教諭	高校生による宇宙線のハイブリッド型同時測定
小島 紀幸	東北学院中学校・高等学校	教諭	センチュウの忌避行動につながる成分の特定
小野寺 弘幸	盛岡市立高等学校	教諭	岩手県産示準化石を活用した地学基礎の授業実践
加賀 理夫	島根県立宍道高等学校	教諭	「宍道たたら」確立のためのレンガ炉を用いたたたら製鉄操業実験～自作吸光度計によるたたら中の純鉄度算出の一試み～
垣内 麻由美	星槎高等学校	教頭	大貫谷公園土壌における顕微鏡サイズの微生物群集の動態
檀村 豪紀	千葉県立浦安南高等学校	教諭	「動物の生活史」への関心を高めるミズクラゲポケット飼育の教材化
金井 哲也	沖縄カトリック中学高等学校	教諭	教師あり型・強化型、2種類の人工知能によるフィードバック制御の特性を理解するためのピッチングマシンの製作
木下 光一	大阪桐蔭高等学校	教諭	粉塵爆発の発生要因とメカニズムの研究
木原 秀人	山口県立下関工科高等学校	教諭	大気電界法を用いた地域の雷観測と予知によるスマホへの雷情報発信ーものづくりと観測およびスマホを通して大気現象とIoT技術を身近にー
木村 智志	兵庫県立宝塚北高等学校	教諭	身近なものやフリー素材を用いた探究基礎実習の開発
木村 泰彦	東京都立小石川中等教育学校	教諭	金魚すくいポイを使ったダニエル型電池の研究
黒田 もも	三重県立桑名西高等学校	教諭	伊坂ダムに生息するマミズクラゲの生態調査
児玉 伊智郎	山口県立山口高等学校	教諭	衛星データを用いた探究活動の推進
坂尾 俊介	鳥取県立鳥取西高等学校	教諭	レーザー光の干渉を用いた羽毛構造の定量的解析
坂倉 みかり	広島県立呉宮原高等学校	教諭	平成30年7月豪雨による土砂災害ー人工衛星LANDSATデータを用いた土砂災害の評価基準の作成ー
島野 誠大	立教新座中学・高等学校	教諭	物理の授業における新しい国際単位系(SI)の普及に向けた授業開発
島ノ江 純	明光学園中高等学校	教諭	アーカイブデータを活用した天文学研究による高校生の科学的探究能力の育成(突発天体爆発の瞬間を探る研究)
末谷 健志	山口県立徳山高等学校	教諭	高校生による医療問題解決に向けたAI研究の確立と普及
菅原 陽	立命館慶祥中学校・高等学校	講師	エネルギーと流体の様々な現象を観察する実施装置・器具の製作と普及
鈴木 康	宮城県築館高等学校	主幹教諭	伊豆沼の浅底化防止に向けた刈り取り後のハスの活用方法の研究
高橋 将太	青森県立名久井農業高等学校	教諭	果樹剪定枝を活用したバイオマス教育のモデルづくり
高橋 寛明	愛媛県立松山商業高等学校	教諭	伝統工芸「伊予紺」の保存と発展に向けた藍染の研究と教材化

氏名	所属機関	職位	研究題目
竹内 竜馬	三重県立宇治山田高等学校	教諭	生物部ウェブページを活用した伊勢市生物マップと伊勢市生物図鑑の作成
田中 福人	清心女子高等学校	教諭	植物の吸水機構の多面的な調査に基づく吸水リズムの考察
富山 朋二	群馬県立利根実業高等学校	教諭	ソバ殻を培地基材としたキノコ栽培
豊田 将章	大谷中学校・高等学校	教諭	出力可変でコードレスのバンデグラフ型起電機の開発と10万ボルトを超える発生電圧の測定法の確立
中村 和幸	大阪府立園芸高等学校	教諭	特定外来生物ブルーギルの防除活動と食性調査
中村 由樹	埼玉県立川越南高等学校	教諭	人間の日常的な活動が細菌の機能に及ぼす影響の定量的評価
伊 勝	東京家政大学附属女子高等学校	教諭	繊維を利用した高校生物の教材開発
濱島 裕輝	東京都立豊島高等学校	教諭	変化アサガオの葉緑体と光合成色素の研究
原田 千鶴	埼玉県立所沢北高等学校	教諭	電気泳動法を用いた制限酵素地図作成の教材開発
福満 晋	島根県立浜田高等学校	教諭	貝殻に含まれるコンキオリンによる水生生物の成長促進効果と成長抑制効果について
藤田 勲	芝浦工業大学柏中高等学校	非常勤講師 (化学)	若い教員のための『自然を丸ごと捉える化学の授業書』の作成
藤田 純太	京都府立東舞鶴高等学校	教諭	日本海深海性工ビ類の適応戦略と遺伝的多様性評価～京都府舞鶴沖サンプルを使った高校生の探求活動～
藤田 学	岡山県立玉野高等学校	教諭	高校発！地域全体でのSTEAM教育推進のモデルケース開発～全国大会に向けたモデルロケットの開発をテーマとして～
藤原 博伸	女子聖学院中学高等学校	理科教諭	雨水採水装置の作製と簡易雨水成分分析による都市型局地的豪雨の発生原因を探究する高大連携による課題研究
増田 智	茨城県立竹園高等学校	教諭	持続可能な未利用バイオマスを用いた機能性高分子化合物に関する研究～グローバル人材養成を指向した科学系部活動の指導と展開～
松本 秀樹	山口県立柳井高等学校	教諭	きのご類発生の季節的変動と季相分布の探究
両角 治徳	千葉県立大原高等学校	教諭	部活動における課題研究「ヨウ素時計反応の誘導時間を左右するもう一つの要素」の指導について
渡會 兼也	金沢大学附属高等学校	教諭	スマートフォンの音センサーを利用した測定実験教材の開発

計 48 件

杏雨書屋研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
池内 早紀子	大阪府立大学 大学院人間社会システム科学研究科 人間科学専攻 博士後期課程		淡輪元潜とその医学の研究－手稿本『雑方集驗』の校勘を中心として－
石毛 奈緒子	東京武蔵野病院 第一診療部	非常勤医員	「メンタ湿布」の起源と効用、その臨床的使用の歴史
景 徳	鹿児島大学 大学院人文社会科学研究科 博士後期課程		薩摩藩の編纂事業における曾槃及びその著書についての研究
香西 豊子	佛教大学 社会学部 現代社会学科	准教授	近世日本の瘡瘡薬「一角（うにこうる）」の総合的研究 －通称・伝承・本草学的実証の側面から
住吉 朋彦	慶應義塾大学斯道文庫	教授	「香山常住」蔵書の復元と研究－恭仁山莊旧蔵宋版の伝承をめぐって－
高木 浩明	清風高等学校	講師	近世初期古活字版医書の書誌学的研究
矢森 小映子 (酒井)	東京大学史料編纂所		江戸後期の洋学者・小関三英の基礎的研究
劉 青	京都大学 大学院人間・環境学研究科 共生文明講座 博士課程後期		明代の養生書と日本的伝播

計 8 件

2019年度 応募件数・採択件数・採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採択率
武田報彰医学研究助成	28	10	36%
生命科学研究助成	158	29	18%
ライフサイエンス研究助成	164	42	26%
ライフサイエンス研究継続助成	7	4	57%
医学系研究助成（がん領域・基礎）	83	35	42%
医学系研究助成（がん領域・臨床）	71	30	42%
医学系研究助成（精神・神経・脳領域）	117	49	42%
医学系研究助成（感染領域）	56	23	41%
医学系研究助成（基礎）	171	71	42%
医学系研究助成（臨床）	77	32	42%
医学系研究助成（小計）	575	240	42%
医学系研究継続助成（がん領域・基礎）	9	3	33%
医学系研究継続助成（がん領域・臨床）	8	3	38%
医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域）	16	6	38%
医学系研究継続助成（感染領域）	10	4	40%
医学系研究継続助成（基礎）	25	9	36%
医学系研究継続助成（臨床）	12	5	42%
医学系研究継続助成（小計）	80	30	38%
薬学系研究助成	132	40	30%
薬学系研究継続助成	18	5	28%
特定研究助成	28	13	46%
ビジョナリーリサーチ助成	328	34	10%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）	21	10	48%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）	11	5	45%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）	6	0	0%
中学校理科教育振興助成	42	21	50%
高等学校理科教育振興助成	96	48	50%
杏雨書屋研究助成	15	8	53%
<b>合計</b>	<b>1,709</b>	<b>539</b>	<b>32%</b>

(2019.8.30)

## 2019年度来日外国人留学研究者(国別人数)

&lt;2020年3月31日現在&gt;

国 別	2019年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	6	1		7	6名承認
タ イ	8	7			7	8名承認、1名次年度繰越
フィリピン	8	9			9	9名承認
韓 国	5	3			3	4名承認、1名次年度繰越
中 国	10	7			7	10名承認、3名次年度繰越
インドネシア	8	9			9	9名承認
ベトナム	6	3	3		6	3名承認
7ヵ国 小計	51	44	4	0	48	
上記7ヵ国以外	10	11			11	12名承認、1名次年度繰越
総 計	61	55	4	0	59	



## 2019年度外国人留学研究者明細

2019/4/1-2020/3/31来日者

氏名	所属	研究機関
<b>台 湾</b>		
Wei-Ling Chen 陳韋伶 2018年度	Taichung Veterans General Hospital	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター
Chun-Chia Chen 陳俊嘉	Chung Shan Medical University Hospital	広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター
Hsin-Yi Chen 陳信宜	Cathay General Hospital	順天堂大学大学院医学研究科 画像診断・治療学
Chen-Cheng Yang 楊鎮誠	Kaohsiung Municipal Ta-Tung Hospital	東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野
Yu-Chieh Wang 王俞傑	Hsinchu Cathay General Hospital	国立がん研究センター中央病院 胃外科
Shun-Mao Yang 楊順賢	National Taiwan University Hospital	東京大学医学部附属病院 心臓外科・呼吸器外科
Tzu-Chun Chen 陳姿君	National Taiwan University Hospital	東京医科歯科大学医学部附属病院 大腸・肛門外科
小 計	7名	
<b>タ イ</b>		
Nuengruetai Orannapalai	National Cancer Institute	東京女子医科大学 消化器外科学
Sermsak Sukpanichyingyong	Khon Kaen Hospital	がん研究会有明病院
Sarun Thongvitokomarn	Srinakharinwirot University	埼玉医科大学国際医療センター 包括のがんセンター乳癌腫瘍科
Surapot Salao	Nan hospital	東北大学医学部 整形外科教室
Jutarat Tanasansuttiporn	Songklanagarind Hospital	東京女子医科大学 麻酔科学
Autthapol Cheevarungrod	Hatyai hospital	札幌禎心会病院
Atjima Issara	Saraburi hospital	国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科
小 計	7名	
<b>フィリピン</b>		
Jan Miguel Clutario Deogracias	UP Philippine General Hospital	順天堂大学医学部 小児外科学講座
Arby Jane Roque Igualada	Philippine General Hospital	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
Maria Regina Valencia Pelobello-De Leon	Makati Medical Center	北海道大学病院 血液内科
Edelyn Santos Azurin	Jose B. Lingad Memorial Regional Hospital	金沢大学大学院 機能再建学(整形外科教室)
Henry Gochoco Canizares	Vicente Sotto Memorial Medical Center (VSMC)	金沢大学医薬保健研究域医学系 核医学
Jeffrey Angeles Pangilinan	Angeles Medical Center	ひろしば耳鼻咽喉科
Cezar Thomas Reyes Suratos	Justice Jose Abad Santos General Hospital	徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学(神経内科)
Jesse Jerus Alem Gabrieli Tabirara Joson	Catanduanes Doctors Hospital	慶應義塾大学医学部 整形外科教室
Mickhael Bang Langit	Philippine Orthopedic Center	金沢大学大学院 先進運動器医療創成講座
小 計	9名	
<b>韓 国</b>		
Joung-Ho Han	Chungbuk National University College of Medicine	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座消化器内科学分野
Youngdong Song	Dongducheon St. Mary Hospital	京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座整形外科
Joo Ho Lee	CHA Bundang Medical Center, CHA University	近畿大学医学部 消化器内科学教室
小 計	3名	
<b>中 国</b>		
Shilin Xia 夏士林	大連医科大学付属第一病院 First Affiliated Hospital of Dalian Medical University	順天堂大学大学院医学研究科 緩和医療学研究室
Bin Liu 劉賓	西安市センター病院 Xi'an Central Hospital	東京大学医学部附属病院 形成外科・美容外科
Denggao Huang 黄邓高	中南大学湘雅医学院付属海口病院 Affiliated Haikou Hospital of Xiangya Medical College	京都大学ウイルス・再生医科学研究所 再生組織構築研究部門発生エピゲノム分野多田グループ
Fangjun Li 李芳君	南昌大学第一附属病院 The First Affiliated Hospital of Nanchang University	順天堂大学医学部 神経学講座
Li Chen 陈莉	湖北第三人民病院 The Third people's Hospital of Hubei Province	帝京大学医学部附属病院 救命救急センター
De jun Cui 崔德军	貴州省人民病院 Guizhou Provincial People's Hospital, Guizhou Medical University	新潟大学大学院医歯学総合研究科 バイオインフォマティクス分野
Wenling Zhao 赵文玲	京順義区母子保健病院 Shunyi health care hospital for Women Children and the Aged	慶應義塾大学医学部 皮膚科学教室

氏 名	所 属	研究機関
小 計	7名	
インドネシア		
Ratoe Suraya	Universitas Indonesia	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座呼吸器内科学分野
Guata Naibaho	Padjadjaran University, Hasan Sadikin Hospital	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
Salmarezka Dewiputri	Cipto Mangunkusumo Hospital Universitas Indonesia	宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野
Aries Rakhmat Hidayat	Dr. Soetomo General Hospital, Airlangga University	金沢大学医学部附属病院 整形外科
Jefman Efendy Marzuki HY	Faculty of Medicine, University of Surabaya	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学先進老化制御学講座
Kharisma Perdani Kusumahstuti	Dr. Hasan Sadikin General Hospital	大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座
Dearikha Karina Mayashinta	Faculty of Medicine, Universitas Brawijaya	大阪大学微生物病研究所 感染機構研究部門感染症態分野
Ika Fitriana	Cipto Mangunkusumo Hospital	東京大学大学院医学系研究科 老年病学 生殖・発達・加齢医学専攻
Rizka Hidayati	Universitas Jenderal Soedirman	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター
小 計	9名	
ベトナム		
Long Duc Doanh 2018年度	University of Medicine and Pharmacy	東京女子医科大学 麻酔科学
Nguyen Dac Nguyen	Hue University of Medicine and Pharmacy	名古屋大学医学部 産婦人科
Hoan Phuc Nguyen 2018年度	Hanoi Medical University	大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室
Thuy Linh Thi Pham	Hanoi Medical University	慶應義塾大学医学部 眼科学教室
Nam Nhut Nguyen 2018年度	Pham Ngoc Thach University of Medicine	浜松医科大学 麻酔・蘇生学講座
Thuyet Huu Nguyen	Can Tho Central General Hospital	医療法人社団元氣会 札幌整形外科
小 計	6名	
そ の 他		
Kelechi Onyenekeya Ndukuba ナイジェリア	Memfys Hospital for Neurosurgery	信州大学医学部 脳神経外科学教室
Marcio Makoto Nishida ブラジル	National Center for Geriatrics and Gerontology	国立長寿医療研究センター
Bob Otieno Achila ケニア	Aga Khan Hospital Kisumu	亀田総合病院 ウロギネ科
Sivagami Gunasekaran インド		名古屋市立大学 津田特任教授研究室
Moniruzzaman バングラデシュ	富山大学	富山大学大学院医学薬学研究部(医学) 歯科口腔外科学講座
Madhu Malinee インド	Kyoto University	京都大学大学院理学研究科 化学専攻生物化学研究室
Stephanie Roshni Kaypee インド	Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research	東北大学大学院医学系研究科 生物化学分野疾患エピゲノムコアセンター
Hesham Elsayed Nasser Mahmoud エジプト	Suez Canal University	熊本大学 エイズ学研究センター・国際先端医学研究拠点施設
Kwesi Prah Thomford ガーナ	Kwame Nkrumah University of Science and Technology	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻天然薬物学講座
Mustafa Can トルコ	Izmir Katip Celebi University	熊本大学生命科学研究部 サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
Hriday Bera インド	AIMST University	理化学研究所 伊藤ナノ医工学研究室
小 計	11名	
合 計	59名	

## 国別外国人留学研究者数累計

2020/3/31現在  
(来日ベース)

国別	期 間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	52	112	60	315	1	562	1964
タイ			7	11	121	76		215	1966
フィリピン			6	11	106	35		158	1971
韓国			4	110	19	2		135	1972
中国			32	119	111			262	1981
インドネシア			9	19	60	78	2	168	1982
ベトナム				3	22	50	1	76	1998
アフガニスタン				1				1	
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリー			1	2	1			4	
イラン				1				1	
インド			2	22	9	1		34	
エジプト				11	3	1		15	
オーストラリア				2				2	
ガーナ				1				1	
カナダ				2	1			3	
ケニア				1	1			2	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スウェーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1				1	
ドイツ			4	4	3			11	
トルコ				2	3			5	
ナイジェリア					1			1	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				3	1			4	
パキスタン				3				3	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				8	8	3		19	
ブラジル				2				2	
フランス			2	3	3	1		9	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペルー			1	1	2			4	
ベルギー					1			1	
マレーシア				1		1		2	
ミャンマー			1	1	3	3		8	
メキシコ			1					1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア			1	1			1	3	
合計		22	127	468	545	567	5	1,734	

## 医学部博士課程奨学助成者

## 2019年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
佐伯龍之介	京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座
高橋 慧	京都大学大学院医学研究科 高次脳科学講座神経生物学
曾根原究人	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学
吉田 将太	大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座
安藤 良太	名古屋大学大学院医学系研究科 分子病理学
堀内 麻衣	名古屋大学環境医学研究所 病態神経科学分野
石田 浩理	東京大学大学院医学系研究科 統合生理学
余語 孝夫	東京大学大学院医学系研究科 幹細胞治療部門
小河原輝正	東北大学加齢医学研究所 法医学分野
高 勇羅	東北大学大学院医学系研究科 微生物学
堀川 芽衣	北海道大学大学院医学院 生化学講座分子生物学教室
森 結子	北海道大学大学院医学院 生化学講座医化学教室
須賀原 修	九州大学大学院医学研究院 分子医科学
宮崎 悠斗	九州大学大学院医学研究院 系統解剖学

14名

## 2017年度継続奨学助成者の中で、研究優秀による追加奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
小澤 慶	名古屋大学大学院医学系研究科 神経情報薬理学
浮田 純平	東京大学大学院医学系研究科 統合生理学分野

2名

## 2019年度 海外研究留学者

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
石田 隆	北里大学医学部 輸血・細胞移植学	Fred Hutchinson Cancer Research Center, WA, USA Assistant Prof. Brandon K. Hadland
岡本 裕介	京都大学大学院医学研究科 血液腫瘍内科学	University of Toronto, Ontario Canada Prof. Daniel Durocher
笠原 秀範	慶應義塾大学医学部 血液内科	New York University, NY, USA Associate Prof. Christopher Y. Park
木村 公俊	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部	Harvard Medical School, MA, USA Prof. Vijay K. Kuchroo
金 恭平	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科	University of Alabama at Birmingham, AL, USA Assistant Prof. Minae Niwa
下埜 城嗣	市立旭川病院 血液内科	University Medical Center Gottingen, Germany Prof. Bjorn Chapuy
中村 治子	横浜市立大学附属病院 神経内科・脳卒中科	St. Jude Children's Research Hospital, TN, USA Prof. J. Paul Taylor
中村 浩之	苫小牧市立病院 内科	National Institute of Health (NIH), MD, USA PI, Dr. John A. Chiorini
藤巻 基紀	順天堂大学 大学院医学研究科 神経学講座	University of Cambridge, UK Prof. David C Rubinsztein
藤本 淳	放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部	Icahn School of Medicine at Mount Sinai, NY, USA Assistant Prof. Peter H. Rudebeck

第10回武田科学振興財団薬科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者

別表(7)

氏名	所属	ポスタータイトル
石川 充	慶應義塾大学医学部 生理学教室	Rapid, robust, and subtype-specific neuronal differentiations from human pluripotent stem cells for multi-dimensional screening of neurodevelopmental/psychiatric disorders
笠井 淳司	大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野	Claustal stress ensembles decode anxiety-related behaviors through multi-area interconnectivity
征矢 晋吾	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	Deciphering a novel neural circuit in the central amygdala implicated in regulation of social behavior
野村 淳	理化学研究所 脳神経科学研究センター	Comprehensive analysis identified CNV- and cell type specific vulnerability across psychiatric disorders
春若 航一路	神戸大学大学院医学研究科 システム生理学分野	Dual Microglia Effect on Blood Brain Barrier Permeability Induced by Systemic Inflammation

5名

## Ⅱ. 処務の概要

2020年3月31日現在

氏名		就任				再任		基本給 (月額) 単位：円	職名
		就任年月日	登記年月日	再任年月日	登記年月日				
1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 8人 10人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年			
理事 (理事長) 常勤	飯澤 祐史	2017. 6.9	2017. 6.22	2019. 6.7	2019. 6.21		807,000		
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6.14	2013. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21		757,000		
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6.12	2015. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	東北大学 名誉教授 公立刈田総合病院 特別管理者	
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	(一社) 未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役	
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	国立循環器病研究センター 名誉総長	
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	九州大学 名誉教授 聖マリア健康科学研究所 センター長	
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6.12	2015. 6.24	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	名古屋大学 名誉教授	
理事 非常勤	澁谷 正史	2009. 9.30	2009. 10.15	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授	
理事 非常勤	武田 直久	2016. 6.10	2016. 6.21	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	(公財) 発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役	
理事 非常勤	山縣 ゆり子	2019. 6.7	2019. 6.21	—	—		なし	熊本大学 名誉教授	
監事 非常勤	池田 裕彦	2017. 6.9	2017. 6.22	—	—		なし	弁護士	
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6.17	2011. 6.30	2019. 6.7	2019. 6.21		なし	弁護士	

2020年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任年月日	再任年月日	職名
評議員	稲葉 カヨ	2018. 6. 8	—	京都大学 理事・副学長
評議員	春日 雅人	2010. 12. 1	2018. 6. 8	(公財)朝日生命成人病研究所 所長 国立国際医療研究センター 名誉理事長
評議員	河盛 隆造	2014. 6. 13	2018. 6. 8	順天堂大学 名誉教授
評議員	笹川 千尋	2010. 12. 1	2018. 6. 8	日本生物科学研究所 理事長 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 京子	2018. 6. 8	—	株式会社 K&H 代表取締役
評議員	鍋島 陽一	2018. 6. 8	—	(公財)神戸医療産業都市推進機構 理事 先端医療研究センター長
評議員	名和田 新	2014. 6. 13	2018. 6. 8	医療法人誠和会牟田病院 名誉院長 九州大学 名誉教授
評議員	平野 俊夫	2018. 6. 8	—	量子科学技術研究開発機構 理事長
評議員	藤吉 好則	2018. 6. 8	—	東京医科歯科大学 高等研究院 特別名誉教授
評議員	本庶 佑	2010. 12. 1	2018. 6. 8	京都大学高等研究院 副院長/特別教授 (公財)神戸医療産業都市推進機構 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010. 12. 1	2018. 6. 8	神戸学院大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授



3. 職員に関する事項			
	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	9	4,481,500	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項	
<理事会>	
第38回定時理事会 2019年5月20日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年度事業報告および財務諸表等承認の件</li> <li>・ 海外研究留学助成の応募資格一部変更の件</li> <li>・ 定時評議員会開催の件</li> <li>・ 報告事項 業務の執行状況の報告の件</li> </ul>
第39回臨時理事会 2019年6月14日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表理事（理事長）選定の件</li> <li>・ 業務執行理事（常務理事）選定の件</li> <li>・ 武田薬品の株主総会の議案について</li> </ul>
第40回臨時理事会 2019年11月12日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年度事業計画の件</li> </ul>
第41回定時理事会 2020年3月2日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年度事業計画および2020年度予算の件</li> <li>・ 選考委員選任の件</li> <li>・ 規程類等改定の件</li> <li>・ 臨時評議員会開催の件</li> <li>・ 報告事項 業務の執行状況の報告の件</li> </ul>
<評議員会>	
第21回定時評議員会 2019年6月7日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事10名 監事1名 選任の件</li> <li>・ 規程類等改定の件</li> <li>・ 2018年度事業報告および決算内容報告の件</li> </ul>
第22回臨時評議員会 2020年3月25日 (みなし報告による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年度事業計画および2020年度予算の件</li> </ul>

5. 寄附金に関する事項

寄 附 者	寄附の目的	寄 附 金 額
坂井印刷他5件	公益事業目的発展のため	310,010円

# 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	117,178,688	62,411,894	54,766,794
未収金	633,333		633,333
前払金	8,000,000	23,051,520	-15,051,520
流動資産合計	125,812,021	85,463,414	40,348,607
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
現金預金	15,007,044	15,007,044	0
投資有価証券	53,381,167,500	71,994,299,500	-18,613,132,000
図書資料	2,872,022,383	2,856,296,583	15,725,800
基本財産合計	56,268,196,927	74,865,603,127	-18,597,406,200
(2) 特定資産			
助成基金	14,490,986,271	17,733,629,099	-3,242,642,828
杏雨基金	263,333,558	268,485,558	-5,152,000
資産取得資金	215,929,000	190,441,000	25,488,000
寄附者指定特定基金	3,657,269,628	3,529,832,068	127,437,560
建物	125,459,972	131,643,132	-6,183,160
特定資産合計	18,752,978,429	21,854,030,857	-3,101,052,428
(3) その他固定資産			
建物	93,818,962	106,827,755	-13,008,793
什器備品	131,992,827	157,898,997	-25,906,170
ソフトウェア	12,016,302	14,410,322	-2,394,020
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	237,878,091	279,187,074	-41,308,983
固定資産合計	75,259,053,447	96,998,821,058	-21,739,767,611
資産合計	75,384,865,468	97,084,284,472	-21,699,419,004
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	7,826,547	10,929,808	-3,103,261
未払費用	1,325,936	1,499,258	-173,322
預り金	1,050,130	2,117,197	-1,067,067
流動負債合計	10,202,613	14,546,263	-4,343,650
<b>2. 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	7,459,300	5,895,300	1,564,000
退職給付引当金	9,113,000	7,643,000	1,470,000
固定負債合計	16,572,300	13,538,300	3,034,000
負債合計	26,774,913	28,084,563	-1,309,650
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
受贈投資有価証券	50,633,902,000	69,200,686,500	-18,566,784,500
基本財産受取配当金利息	3,941,240,853	3,804,925,653	136,315,200
指定正味財産合計	54,575,142,853	73,005,612,153	-18,430,469,300
(うち基本財産への充当額)	(50,792,797,140)	(69,344,520,840)	(-18,551,723,700)
(うち特定資産への充当額)	(3,782,345,713)	(3,661,091,313)	(121,254,400)
<b>2. 一般正味財産</b>	20,782,947,702	24,050,587,756	-3,267,640,054
(うち基本財産への充当額)	(5,475,399,787)	(5,521,082,287)	(-45,682,500)
(うち特定資産への充当額)	(14,970,632,716)	(18,192,939,544)	(-3,222,306,828)
正味財産合計	75,358,090,555	97,056,199,909	-21,698,109,354
負債及び正味財産合計	75,384,865,468	97,084,284,472	-21,699,419,004

# 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,644,931,196	2,679,749,655	-34,818,459
基本財産受取配当金	2,618,854,800	2,653,673,260	-34,818,460
基本財産受取利息	26,076,396	26,076,395	1
特定資産運用益	519,043,760	520,044,636	-1,000,876
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	50,079,680	51,080,556	-1,000,876
受取寄付金	310,010	315,000	-4,990
受取寄付金	310,010	315,000	-4,990
雑収益	2,006,268	11,018,506	-9,012,238
受取利息	6,268	6,806	-538
返還助成金	2,000,000	11,011,700	-9,011,700
経常収益計	3,166,291,234	3,211,127,797	-44,836,563
(2) 経常費用			
事業費	3,083,330,873	3,120,547,586	-37,216,713
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
生命科学研究助成金	290,000,000	300,000,000	-10,000,000
ライオンズ研究助成金	96,000,000	84,000,000	12,000,000
医学系研究助成金	570,000,000	587,000,000	-17,000,000
薬学系研究助成金	95,000,000	99,000,000	-4,000,000
特定研究助成金	649,800,000	699,800,000	-50,000,000
ビジョナリーサーチ助成金	168,000,000	160,000,000	8,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	20,700,000	21,000,000	-300,000
杏雨書屋研究助成金	5,000,000	2,450,000	2,550,000
外国人留学助成金	111,602,856	138,502,567	-26,899,711
武田医学賞褒賞金	40,000,000	30,000,000	10,000,000
シンポジウムホスター褒賞金	2,500,000	2,500,000	0
医学部博士課程奨学助成	183,700,000	181,000,000	2,700,000
海外研究留学助成	48,000,000	0	48,000,000
助成金等費用	33,403,898	35,583,898	-2,180,000
役員報酬	11,194,960	11,194,960	0
給料手当	42,458,537	38,043,285	4,415,252
役員退職慰労引当金繰入額	799,640	799,640	0
退職給付費用	1,100,000	1,775,000	-675,000
福利厚生費	7,935,228	6,660,314	1,274,914
会議費	30,579,049	29,782,929	796,120
旅費交通費	66,319,616	63,386,893	2,932,723
通信運搬費	4,019,657	4,609,931	-590,274
減価償却費	48,143,338	50,174,452	-2,031,114
消耗品費	6,692,675	8,656,536	-1,963,861
修繕費	72,419,364	77,767,363	-5,347,999
印刷製本費	37,523,563	42,249,742	-4,726,179
光熱水料費	2,043,285	2,026,267	17,018
賃借料	52,106,297	51,671,771	434,526
保険料	7,291,780	9,029,877	-1,738,097
諸謝金	10,294,595	9,360,226	934,369
租税公課	10,400	94,640	-84,240
委託費	54,331,414	53,243,988	1,087,426
広報費	14,127,783	18,892,174	-4,764,391
雑費	232,938	291,133	-58,195

管理費	56,644,361	51,764,211	4,880,150
役員報酬	13,095,915	13,383,922	-288,007
給料手当	18,640,003	13,299,094	5,340,909
役員退職慰労引当金繰入額	764,360	764,360	0
役員退職金	100,000	300,000	-200,000
退職給付費用	370,000	430,000	-60,000
福利厚生費	6,791,645	6,094,918	696,727
会議費	1,928,889	2,074,396	-145,507
旅費交通費	1,836,535	2,390,980	-554,445
通信運搬費	439,783	395,775	44,008
減価償却費	498,305	533,391	-35,086
消耗品費	1,407,648	1,471,301	-63,653
修繕費	728,310	97,200	631,110
印刷製本費	359,970	398,669	-38,699
光熱水料費	1,493,171	1,533,209	-40,038
賃借料	2,918,377	2,884,843	33,534
保険料	136,570	143,873	-7,303
諸謝金	48,875	447,147	-398,272
会計監査報酬	1,650,000	1,620,000	30,000
委託費	2,964,514	3,073,390	-108,876
雑費	471,491	427,743	43,748
経常費用計	3,139,975,234	3,172,311,797	-32,336,563
評価損益等調整前当期経常増減額	26,316,000	38,816,000	-12,500,000
基本財産評価損益等	-47,003,748	36,053,754	-83,057,502
基本財産評価損益等	-47,003,748	36,053,754	-83,057,502
特定資産評価損益等	-3,247,617,306	-1,666,836,149	-1,580,781,157
特定資産評価損益等	-3,247,617,306	-1,666,836,149	-1,580,781,157
評価損益等計	-3,294,621,054	-1,630,782,395	-1,663,838,659
当期経常増減額	-3,268,305,054	-1,591,966,395	-1,676,338,659
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	665,000	2,700,000	-2,035,000
図書資料受贈益	665,000	2,700,000	-2,035,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	665,000	2,700,000	-2,035,000
当期一般正味財産増減額	-3,267,640,054	-1,589,266,395	-1,678,373,659
一般正味財産期首残高	24,050,587,756	25,639,854,151	-1,589,266,395
一般正味財産期末残高	20,782,947,702	24,050,587,756	-3,267,640,054
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,755,170,000	2,755,170,000	0
基本財産受取配当金	2,755,170,000	2,755,170,000	0
特定資産運用益	100,666	98,718	1,948
特定資産受取利息	100,666	98,718	1,948
基本財産評価損益	-18,566,784,500	-10,132,903,000	-8,433,881,500
基本財産評価損益	-18,566,784,500	-10,132,903,000	-8,433,881,500
一般正味財産への振替額	-2,618,955,466	-2,653,771,978	34,816,512
一般正味財産への振替額	-2,618,955,466	-2,653,771,978	34,816,512
当期指定正味財産増減額	-18,430,469,300	-10,031,406,260	-8,399,063,040
指定正味財産期首残高	73,005,612,153	83,037,018,413	-10,031,406,260
指定正味財産期末残高	54,575,142,853	73,005,612,153	-18,430,469,300
III 正味財産期末残高	75,358,090,555	97,056,199,909	-21,698,109,354

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	26,076,396	0	0	0	0	0	2,562,272,243	2,588,348,639	56,582,557		2,644,931,196
基本財産受取配当金							2,562,272,243	2,562,272,243	56,582,557		2,618,854,800
基本財産受取利息	26,076,396						0	26,076,396	0		26,076,396
特定資産運用益	516,171,870	0	0	0	0	2,771,178	45,176	518,988,224	55,536		519,043,760
特定資産受取配当金	468,964,080							468,964,080	0		468,964,080
特定資産受取利息	47,207,790					2,771,178	45,176	50,024,144	55,536		50,079,680
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	310,010	310,010	0		310,010
受取寄付金							310,010	310,010	0		310,010
雑収益	2,000,000	0	0	0	0	0	0	2,000,000	6,268		2,006,268
受取利息								0	6,268		6,268
返還助成金	2,000,000							2,000,000			2,000,000
経常収益計	544,248,266	0	0	0	0	2,771,178	2,562,627,429	3,109,646,873	56,644,361		3,166,291,234
(2) 経常費用											
事業費	2,333,646,076	393,929,732	65,656,666	67,081,911	23,089,361	199,925,447	1,680	3,083,330,873			3,083,330,873
武田報彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
生命科学研究助成金	290,000,000							290,000,000			290,000,000
ライフサイエンス研究助成金	96,000,000							96,000,000			96,000,000
医学系研究助成金	570,000,000							570,000,000			570,000,000
薬学系研究助成金	95,000,000							95,000,000			95,000,000
特定研究助成金	649,800,000							649,800,000			649,800,000
ビジョナリーリサーチ助成金	168,000,000							168,000,000			168,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	20,700,000							20,700,000			20,700,000
杏雨書屋研究助成金	5,000,000							5,000,000			5,000,000
外国人留学助成金		111,602,856						111,602,856			111,602,856
武田医学賞褒賞金			40,000,000					40,000,000			40,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				2,500,000				2,500,000			2,500,000
医学部博士課程奨学助成		183,700,000						183,700,000			183,700,000
海外研究留学助成		48,000,000						48,000,000			48,000,000
助成金等費用	24,200,000	1,550,000	2,100,000	120,000		5,433,898		33,403,898			33,403,898
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	18,070,638	6,941,679	2,007,848	2,975,006	1,246,337	11,217,029		42,458,537			42,458,537
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820		799,640			799,640
退職給付費用	270,000	235,000	30,000	115,000	45,000	405,000		1,100,000			1,100,000
福利厚生費	2,106,626	1,035,932	902,674	1,035,932	0	2,854,064		7,935,228			7,935,228
会議費	10,779,363	3,984,119	5,465,329	9,299,629	2,980	1,047,629		30,579,049			30,579,049
旅費交通費	20,336,797	17,674,304	4,942,735	21,359,354	68,510	1,937,916		66,319,616			66,319,616
通信運搬費	781,625	149,459	49,297	41,081	2,160,442	837,753		4,019,657			4,019,657
減価償却費	3,036,122	1,756,410	492,886	492,973	492,572	41,872,375		48,143,338			48,143,338
消耗品費	3,081,749	1,321,650	879,048	222,260	0	1,187,968		6,692,675			6,692,675
修繕費		16,200				72,403,164		72,419,364			72,419,364
印刷製本費	13,384,865	173,876	3,144,394	106,276	15,172,105	5,542,047		37,523,563			37,523,563
光熱水料費	660,138	235,764	282,916	235,764	0	628,703		2,043,285			2,043,285
賃借料	2,915,639	3,722,278	2,907,903	2,908,071	2,907,297	36,745,109		52,106,297			52,106,297
保険料	6,780	2,154,599	6,780	6,780	6,780	5,110,061		7,291,780			7,291,780
諸謝金	3,799,357	994,265	814,946	1,986,504	645,947	2,053,576		10,294,595			10,294,595
租税公課		4,000				6,400		10,400			10,400
委託費	18,658,117	4,287,101	515,500	23,207,751	106,791	7,556,154		54,331,414			54,331,414
広報費	12,360,400	1,665,823	61,560	0	0	40,000		14,127,783			14,127,783
雑費	5,860	189,867	900	330		34,301	1,680	232,938			232,938

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シブシブ賞	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
管理費									56,644,361		56,644,361
役員報酬									13,095,915		13,095,915
給料手当									18,640,003		18,640,003
役員退職慰労引当金繰入額									764,360		764,360
役員退職金									100,000		100,000
退職給付費用									370,000		370,000
福利厚生費									6,791,645		6,791,645
会議費									1,928,889		1,928,889
旅費交通費									1,836,535		1,836,535
通信運搬費									439,783		439,783
減価償却費									498,305		498,305
消耗品費									1,407,648		1,407,648
修繕費									728,310		728,310
印刷製本費									359,970		359,970
光熱水料費									1,493,171		1,493,171
賃借料									2,918,377		2,918,377
保険料									136,570		136,570
諸謝金									48,875		48,875
会計監査報酬									1,650,000		1,650,000
委託費									2,964,514		2,964,514
雑費									471,491		471,491
経常費用計	2,333,646,076	393,929,732	65,656,666	67,081,911	23,089,361	199,925,447	1,680	3,083,330,873	56,644,361		3,139,975,234
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,789,397,810	-393,929,732	-65,656,666	-67,081,911	-23,089,361	-197,154,269	2,562,625,749	26,316,000	0		26,316,000
基本財産評価損益等	-47,003,748							-47,003,748			-47,003,748
基本財産評価損益等	-47,003,748							-47,003,748			-47,003,748
特定資産評価損益等	-3,242,455,947					-5,161,359		-3,247,617,306			-3,247,617,306
特定資産評価損益等	-3,242,455,947					-5,161,359		-3,247,617,306			-3,247,617,306
評価損益等計	-3,289,459,695					-5,161,359		-3,294,621,054			-3,294,621,054
当期経常増減額	-5,078,857,505	-393,929,732	-65,656,666	-67,081,911	-23,089,361	-202,315,628	2,562,625,749	-3,268,305,054	0		-3,268,305,054
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計						665,000		665,000	0		665,000
図書資料受贈益						665,000		665,000	0		665,000
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	665,000	0	665,000	0		665,000
当期一般正味財産増減額	-5,078,857,505	-393,929,732	-65,656,666	-67,081,911	-23,089,361	-201,650,628	2,562,625,749	-3,267,640,054	0		-3,267,640,054
一般正味財産期首残高											24,050,587,756
一般正味財産期末残高											20,782,947,702
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
特定資産運用益							45,176	45,176	55,490		100,666
特定資産受取利息							45,176	45,176	55,490		100,666
基本財産評価損益							-16,632,049,500	-16,632,049,500	-1,934,735,000		-18,566,784,500
基本財産評価損益							-16,632,049,500	-16,632,049,500	-1,934,735,000		-18,566,784,500
一般正味財産への振替額							-2,562,317,419	-2,562,317,419	-56,638,047		-2,618,955,466
一般正味財産への振替額							-2,562,317,419	-2,562,317,419	-56,638,047		-2,618,955,466
当期指定正味財産増減額								-16,726,251,743	-1,704,217,557		-18,430,469,300
指定正味財産期首残高											73,005,612,153
指定正味財産期末残高											54,575,142,853
III 正味財産期末残高											75,358,090,555

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	5,895,300	1,564,000	0	0	7,459,300
退職給付引当金	7,643,000	1,470,000	0	0	9,113,000



# キャッシュ・フロー計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 事業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,590,148	2,780,590,149	-1
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,420,148	25,420,149	-1
特定資産運用収入	519,221,282	520,249,159	-1,027,877
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	50,257,202	51,285,079	-1,027,877
寄付金収入	310,010	315,000	-4,990
雑収入	2,006,268	11,018,506	-9,012,238
利息収入	6,268	6,806	-538
返還助成金	2,000,000	11,011,700	-9,011,700
事業活動収入計	3,302,127,708	3,312,172,814	-10,045,106
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,329,815,303	2,400,411,606	-70,596,303
奨学助成事業支出	377,942,773	387,148,390	-9,205,617
武田医学賞褒賞事業支出	65,022,249	57,666,389	7,355,860
国際シンポジウム事業支出	66,545,451	64,460,384	2,085,067
本草医書発刊事業支出	22,571,105	23,965,969	-1,394,864
本草医書公開事業支出	161,218,443	156,791,318	4,427,125
公益目的事業共通費支出	1,680	1,470	210
管理費支出	55,108,050	52,090,587	3,017,463
事業活動支出計	3,078,225,054	3,142,536,113	-64,311,059
事業活動によるキャッシュ・フロー	223,902,654	169,636,701	54,265,953
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	815,060,800	252,020,990	563,039,810
特定資産普通預金収入	400,000,000	100,000,000	300,000,000
特定資産投資有価証券償還収入	400,000,000	100,000,000	300,000,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	15,060,800	52,020,990	-36,960,190
投資活動収入計	815,060,800	252,020,990	563,039,810
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	15,060,800	52,020,990	-36,960,190
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	15,060,800	52,020,990	-36,960,190
特定資産取得支出	967,986,360	337,384,900	630,601,460
特定資産普通預金支出	400,000,000	100,000,000	300,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	400,000,000	100,000,000	300,000,000
特定資産資産取得資金取得支出	25,488,000	29,705,000	-4,217,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	142,498,360	107,679,900	34,818,460
固定資産取得支出	1,149,500	11,772,129	-10,622,629
什器備品購入支出	0	1,237,680	-1,237,680
ソフトウェア購入支出	1,149,500	10,534,449	-9,384,949
投資活動支出計	984,196,660	401,178,019	583,018,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	-169,135,860	-149,157,029	-19,978,831
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	0	0	0
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	54,766,794	20,479,672	34,287,122
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	62,411,894	41,932,222	20,479,672
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	117,178,688	62,411,894	54,766,794

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 ① その他有価証券 (時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定) によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法  
 ① 建物 定額法によっている。  
 ② 什器備品 定額法によっている。  
 ③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
 ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。  
 ② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
 資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理  
 税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金 預 金	15,007,044	0	0	15,007,044
投 資 有 価 証 券	71,994,299,500	0	18,613,132,000	53,381,167,500
図 書 資 料	2,856,296,583	15,725,800	0	2,872,022,383
小 計	74,865,603,127	15,725,800	18,613,132,000	56,268,196,927
特定資産				
助 成 基 金	17,733,629,099	0	3,242,642,828	14,490,986,271
杏 雨 基 金	268,485,558	0	5,152,000	263,333,558
資 産 取 得 資 金	190,441,000	25,488,000	0	215,929,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,529,832,068	142,498,360	15,060,800	3,657,269,628
建 物	131,643,132	0	6,183,160	125,459,972
小 計	21,854,030,857	167,986,360	3,269,038,788	18,752,978,429
合 計	96,719,633,984	183,712,160	21,882,170,788	75,021,175,356

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期減少額は株式の時価評価損、その他債権の時価評価損及び償却原価等である。
2. 特定資産の助成基金の当期減少額は株式の時価評価損、その他債権の時価評価損及び償却原価等である。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金預金	15,007,044	(0)	(15,007,044)	(0)
投資有価証券	53,381,167,500	(50,633,902,000)	(2,747,265,500)	(0)
図書資料	2,872,022,383	(158,895,140)	(2,713,127,243)	(0)
小 計	56,268,196,927	(50,792,797,140)	(5,475,399,787)	(0)
特定資産				
助成基金	14,490,986,271	(0)	(14,490,986,271)	(0)
杏雨基金	263,333,558	(0)	(263,333,558)	(0)
資産取得資金	215,929,000	(0)	(215,929,000)	(0)
寄附者指定特定基金	3,657,269,628	(3,656,885,741)	(383,887)	(0)
建物	125,459,972	(125,459,972)	(0)	(0)
小 計	18,752,978,429	(3,782,345,713)	(14,970,632,716)	(0)
合 計	75,021,175,356	(54,575,142,853)	(20,446,032,503)	(0)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	40,705,803	125,459,972
その他固定資産			
建物	179,460,183	85,641,221	93,818,962
什器備品	325,213,895	193,221,068	131,992,827
ソフトウェア	55,461,137	43,444,835	12,016,302
合 計	726,300,990	363,012,927	363,288,063

### 5. 金融商品の状況

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

#### (2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

#### (3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金 (目的達成による指定解除額)	2,612,671,640
基本財産受取配当金 (減価償却費計上による振替額)	6,183,160
特定資産受取利息 (目的達成による指定解除額)	100,666
合 計	2,618,955,466

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	62,411,894	現金預金勘定	117,178,688
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	62,411,894	現金及び現金同等物	117,178,688

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
基本財産として受贈された図書資料がある。評価額は2,700,000円である。	基本財産として受贈された図書資料がある。評価額は665,000円である。

# 財 産 目 録

2020年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金預金			117,178,688
現金	手元保管	運転資金として	22,873
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	4,040,856
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	113,114,959
未収金			633,333
未収金	東税務署	給与所得税年末調整繰越超過額	633,333
前払金			8,000,000
前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	3,000,000
前払金	海外研究留学生	海外研究留学助成金前払金	5,000,000
<b>流動資産合計</b>			<b>125,812,021</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			<b>56,268,196,927</b>
現金預金			15,007,044
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,007,044
投資有価証券			53,381,167,500
株式	(武田薬品(株)15,306,500株)		50,633,902,000
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	45,357,642,000
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	5,276,260,000
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,747,265,500
その他債券	第131回利付国債(20年)		295,375,000
	第10回利付国債(30年)		111,660,000
	第11回利付国債(30年)		286,920,000
	第143回利付国債(20年)		177,105,000
	第62回利付国債(20年)		103,060,000
	第329回利付国債(10年)		257,650,000
	第327回利付国債(10年)		143,654,000
	第333回利付国債(10年)		252,129,500
	第151回利付国債(20年)		454,920,000
	第152回利付国債(20年)		113,870,000
	第155回利付国債(20年)		155,722,000
	第157回利付国債(20年)		395,200,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	2,872,022,383
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業(株) 寄贈 589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業(株) 寄贈 150点	3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
	村上文書	武田家 寄贈(書状5,000通含) 909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
	宋版 経史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
	中薬大辞典	1999年度購入 5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入 4帙23冊	8,925,000
	黄帝内経素問諺解他	" 29冊	873,600
	医心方統編	2000年度購入 1冊	488,250

図書資料

萬金産業袋	2001年度購入	5冊	189,000
中国本草全書	2001～2002年度購入	411冊	8,908,333
金陵本 本草綱目	2002年度購入	7	236,250
「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入	109枚	1,260,000
BOTANICAL CABINET	〃	20冊2000枚	4,725,000
HOOKEK'S EXOTIC FLORA	〃	3冊233枚	892,500
THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入	34冊	7,875,000
鴻寶秘要抄	〃	1冊	682,500
続添鴻寶秘要抄抜書	〃	1冊	262,500
江馬榴園書状集	2003年度購入	1冊	357,710
衍義本草	2004年度購入	21冊	9,450,000
医方大成	〃	5冊	2,100,000
医林類証集要	〃	20冊	4,200,000
世医得効方	〃	20冊	4,200,000
植物誌がナテン図書館蔵本ファクシミリ版	2005年度購入	1冊	1,197,000
補遺雷公炮製便覧	〃	13冊	350,000
東洋医学雑誌復刻彙書	〃	8冊	257,250
常陸文庫	〃	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	〃	1冊	252,000
野間玄琢書状	〃	1冊	170,000
奈須玄盅・玄竹書状集	〃	1冊	420,000
帆足万里書状	〃	1冊	252,000
権田直助書状集	〃	1冊	220,000
へボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	〃	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	〃	6冊	367,500
松木文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	〃	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	〃	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	〃	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	〃	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	〃	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	〃	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	〃	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1～3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	〃	19冊	15,579,900
二宮文庫	〃	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	〃	1冊	360,000
ローベル：草木誌	〃	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	〃	1冊	282,555
ショメル：家政事典初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	〃	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	〃	1巻	1,260,000
配濟録他	〃	3冊	1,462,960
医心方提要他	〃	13冊	2,276,960
	(以上、公益認定前取得)		
	(以下、公益認定後取得)		
	(公益認定後取得額合計)		830,211,060
方薬順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lenneC Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	〃	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	〃	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	〃	1冊	1,995,000
外科学入門	〃	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	〃	1冊	262,500
師弟問答	〃	1冊	4,500,000

	曲直瀬道三書状	〃	1冊	650,000
	合葉直伝集	〃	1冊	350,000
	岡本玄治書状	〃	1部	157,500
	方肥剂	〃	1冊	340,980
	古医書写本	〃	9冊	560,980
	医学正伝	〃	8冊	945,980
	證類本草序列	〃	1冊	2,250,000
	ショムル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
	ハルトヴィン：リンネの体系にもとづく自然誌	〃	37冊	2,100,000
	マルチネト：自然の教理問答	〃	4冊	81,900
	ハスター：科学の楽しみ	〃	1冊	441,000
	シュプレングェル：植物学入門	〃	3冊	126,000
図書資料	ジャックイン：植物学入門	〃	1冊	79,800
	デフォーヌ：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	〃	1冊	56,133
	楳林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像	〃	4幅対	100,000
	浅田栗園先生母堂栗園宛消息	〃	4通	85,000
	鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	〃	26通	250,000
	長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	〃	10通	200,000
	名家書簡	〃	46通54紙	2,625,000
	マルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	〃	1冊	94,500
	医学正伝	〃	8冊	7,500,000
	奥田・藤平文庫	〃	668点	13,760,460
	古文孝経	〃	1巻	12,055,970
	神農皇帝真伝灸図	〃	1冊	285,990
	校正本 救荒本草・救荒野譜	〃	3冊	395,990
	草之名集 秋之部	〃	1冊	175,990
	新刊 大観本草	〃	20冊	1,759,990
	日本植物図譜	〃	1冊	1,088,990
	察病指南	〃	1冊	285,990
	意伝普救録	〃	1冊	285,990
	節齋漫録	〃	3冊	2,210,990
	大成論抄	〃	1冊	340,990
	禽獸魚介蟲図譜	〃	4冊	1,759,990
	医家本草家書状	〃	1巻	420,000
	大塚修琴堂文庫	〃	2985点	139,987,890
	中西深齋 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
	曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・亘禁本草	〃	2冊	9,000,000
	素問入式運氣論奥	〃	1冊	3,500,000
	重修政和經史證類備用本草（巻十五～十七）	〃	1冊	252,000
	吉雄幸作・俊蔵書簡	〃	1巻	420,000
	江馬春齡・蘭齋書簡	〃	1巻	330,000
	ターヘル・アナトミア	〃	1冊	290,200
	日本医史学会文庫	〃	38点	7,980,500
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	319点	42,765,760
	レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
	刈谷藩士本草学者宍戸昌 自筆文書	〃	12冊	525,000
	伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書	〃	9幅	5,450,000
	射駒山観花書画	〃	1巻	270,000
	蘭碗摘芳草稿	〃	1冊	1,700,000
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	12点	20,422,500
	本間玄調肖像	〃	1幅	315,000
	ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
	クルムス「ターヘル・アナトミア」	〃	1冊	3,078,000
図書資料	難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	〃	21冊	367,500
	二十八宿三薇垣並星象畧図	〃	1冊	84,000
	家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	〃	7冊	148,500
	解体新書	〃	5冊	4,000,000
	古文孝経	〃	1冊	8,500,000
	玉機微義	〃	12冊	6,500,000
	杉立文庫	〃	26点	5,990,560
	古訓医伝薬能方法辨	〃	5冊	36,750
	傷寒論国字辨	〃	1冊	31,500
	傷寒論辨正	〃	1冊	15,750
	傷寒外伝	〃	1冊	42,000

図書資料

五書剔髓	〃	1冊	63,000
傷寒論識	〃	6冊	15,750
傷寒論特解	〃	1冊	73,500
家刻傷寒論	〃	1冊	63,000
傷寒貫珠集	〃	1冊	73,500
喻嘉言先生傷寒尚論篇全書	〃	1冊	63,000
金匱正辨	〃	1冊	10,500
傷寒論劉氏伝	〃	1冊	15,750
傷寒論輟義	〃	1冊	94,500
傷寒論大意	〃	1冊	31,500
キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」	〃	1冊	997,207
温知堂文庫	〃	619点	19,440,000
解体新書	〃	5冊	3,591,000
經史證類大觀本草	〃	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄(松延年)往復書簡・青山 延光本間玄調宛書簡	2016年度購入	2巻	210,000
干魚一観録	〃	1冊	31,500
小曾戸文庫	〃	632点	80,935,050
スメリー「産科学解剖図録」	〃	1冊	1,404,000
時選読我書捷見	〃	1冊	270,000
参製口訣稿本 二種	〃	2冊	270,000
宋本素問版心文字録	〃	1冊	162,000
遊仙窟	〃	1冊	270,000
劉向新序 十巻	〃	2冊	432,000
素女妙論	〃	1冊	64,800
素女妙論	〃	1冊	37,800
黄素之妙論	〃	1冊	129,600
黄素妙論	〃	1冊	129,600
釋糸付釋麻	〃	1冊	210,000
東大寺古文書	〃	1幅	105,000
多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
医心方	〃	30冊	3,240,000
三医聖画像(三幅対)	〃	3幅	54,000
黄帝秘要良方	〃	1冊	270,000
扁鵲倉公列伝割解	〃	1冊	162,000
傷寒論述義	〃	1冊	378,000
葉雅	〃	1冊	194,400
新刊京本活人心法	〃	1冊	486,000
増修無冤録大全	〃	1冊	216,000
医学院学範 第一編三巻	〃	3冊	31,500
温疫論	〃	2冊	8,400
温疫論私評	〃	2冊	36,750
華氏解剖摘要九巻	〃	2冊	42,000
金鷄医談	〃	1冊	31,500
種痘傳習録	〃	1冊	31,500
内科新説	〃	3冊	6,300
博物新編 三刻	〃	3冊	5,250
京都典薬寮医師大野家旧蔵資料	〃	一括	840,000
杉田玄白肖像画	〃	1幅	20,000
神農像	〃	1幅	80,000
神農像 附肖像木版画	〃	2幅	150,000
ルードヴィヒ「植物学講義」初版	〃	1冊	248,400
菅一学士入余門云々	〃	1軸	550,000
伊藤圭介薬書・書状	2018年度購入	一括	150,000
長井長義朝鮮視察時写真帖	〃	1冊	105,000
察病指南 室町中期刊 五山版	〃	1冊	10,800,000
羽田文庫	〃	116点	40,503,750
察病指南	〃	1冊	126,000
養生月覧	〃	1冊	63,000
香川修徳書状	〃	1通	30,240
富士川游書	〃	1幅	108,000
列仙傳巻物(小曾戸文庫追加)	小曾戸洋氏 寄贈	2巻	2,835,000
神農図 月僊画	2019年度購入	1幅	48,600
三医神像	〃	1幅	108,000
神農像 椽同斉筆	〃	1幅	84,240
張仲景像 吉益北洲画并題	〃	1幅	130,600
新宮涼閣コレラ病詩	〃	1幅	62,640



	北山寿安医事消息	〃	1幅	175,987
	京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	〃	1組	153,986
	月儼画 三國志治療之図	〃	1幅	175,987
	ヨンケル「瑞穂草」	〃	3冊	183,600
	ショイベ「日本における病気の臨床所見」	〃	1冊	64,800
	ショイベ「日本人の脚氣」	〃	1冊	84,240
	田代玄快肖像画幅	〃	1幅	28,000
	増地長喬肖像画幅	〃	1幅	4,400
	増地長喬肖像画幅	〃	1幅	3,600
	切紙下巻	〃	1冊	32,000
	浅田宗伯書簡	〃	1通	220,000
	頼松庵肖像画幅	〃	1幅	20,000
	スメリー「産科論」初版	〃	1冊	594,000
	新刊万病回春	〃	5冊	1,660,983
	大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	〃	1巻	725,987
	ツェンペリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	〃	4冊	682,000
	延寿帯効用略記	〃	1冊	8,900
	矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	〃	37点	9,555,000
	結髪居別集序	〃	1巻	220,000
	神農像掛軸 (小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋 氏 寄贈	4幅	698,250
特定資産				18,752,978,429
助成基金				14,490,986,271
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		12,832,623
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		800,000,000
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	13,678,153,648	
株式	武田薬品株 2,605,356株			8,618,517,648
公社債				5,059,636,000
その他債券	第326回利付国債(10年)			296,786,000
	第11回利付国債(30年)			179,325,000
	第137回利付国債(20年)			237,340,000
	第139回利付国債(20年)			704,820,000
	第329回利付国債(10年)			309,180,000
	第141回利付国債(20年)			238,260,000
	第62回利付国債(20年)			206,120,000
	第148回利付国債(20年)			469,720,000
	第149回利付国債(20年)			117,650,000
	第151回利付国債(20年)			341,190,000
	第337回利付国債(10年)			255,150,000
	第338回利付国債(10年)			154,005,000
	第339回利付国債(10年)			514,200,000
	第152回利付国債(20年)			227,740,000
	第155回利付国債(20年)			111,230,000
	第157回利付国債(20年)			296,400,000
	第159回共同地方債(10年)			400,520,000
杏雨基金				263,333,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		1,432,558
公社債				261,901,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		
資産取得資金				215,929,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		210,772,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		5,157,000
寄附者指定特定基金				3,657,269,628
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。		1,559,684,870
現金預金	法人会計			2,097,584,758
建物	公益目的事業会計			125,459,972
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		125,459,972
その他固定資産				237,878,091
建物				93,818,962
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		16,419,314
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。		77,399,648
什器備品				131,992,827
公益目的事業会計	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。		130,757,683
	道修町ビル1F展示室備品	〃		108,250,329
				18,132,650

		道修町ビル4F 書架	〃	4,127,243
		両袖机1台	〃	44,406
		サーバー1台	公益目的保有財産であり、奨学助成事業の仕器備品として使用している。	203,055
法人会計				1,235,144
		サーバー1台	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	969,516
		会議室テーブル・OA収納テーブル	〃	265,628
ソフトウェア				12,016,302
公益目的事業会計		研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	8,492,326
公益目的事業会計		外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	2,973,737
法人会計		公益法人会計システム	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	550,239
保証金				
法人会計		セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計				75,259,053,447
資産合計				75,384,865,468
(流動負債)				
	未払金			7,826,547
	未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの	監査費用未払分 給与未払分 給与未払分	1,650,000 1,564,000 4,612,547
	未払費用 未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当 福利厚生費未払分	1,325,936 1,325,936
	預り金 預り金		住民税の預り金 給与・期末手当 社会保険預り金	1,050,130 536,300 513,830
流動負債合計				10,202,613
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの	7,459,300
	退職給付引当金	職員に対するもの	入団後2年超の職員に対する退職金の支払に備えたもの	9,113,000
固定負債合計				16,572,300
負債合計				26,774,913
正味財産				75,358,090,555

# 独立監査人の監査報告書

2020年4月20日

公益財団法人武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ  
大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 高 見 勝 文 ㊞  
業務執行社員

## <財務諸表等監査>

### 監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、その附属明細書、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から

財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2020年3月31日現在の2019年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

##### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財産目録の監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査報告書

2020年5月11日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監事 夏住 要一郎 ㊟

監事 池田 裕彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

### (2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上